

令和 6 年度 事業報告書

自：令和 6 年 4 月 1 日
至：令和 7 年 3 月 31 日

福島県会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 5 5 番地 1

社会福祉法人 博愛会

【事業報告書】

〔目次〕

社会福祉法人博愛会法人事務局	・ ・ ・ ・ ・	1
[1]特別養護老人ホーム会津みどりホーム	・ ・ ・ ・ ・	8
[2]短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	・ ・ ・ ・ ・	25
[3]会津みどりホームデイサービスセンター	・ ・ ・ ・ ・	31
[4]あいづ南花畑デイサービスセンター	・ ・ ・ ・ ・	38
[5]居宅介護支援事業所会津みどりホーム	・ ・ ・ ・ ・	43
[6]会津若松市若松第4地域包括支援センター	・ ・ ・ ・ ・	48
[7]幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	・ ・ ・ ・ ・	56
[8]放課後児童健全育成事業（行仁こどもクラブ）	・ ・ ・ ・ ・	62
[9]保育園すくすく園	・ ・ ・ ・ ・	64
[10]放課後児童健全育成事業（東山こどもクラブ）	・ ・ ・ ・ ・	69
[11]放課後児童健全育成事業（鶴城こどもクラブ）	・ ・ ・ ・ ・	70

令和6年度社会福祉法人博愛会事業報告書

当法人の経営理念・方針に基づき、高齢者介護・児童福祉を実施するにあたり、地域に信頼される質の高いサービスの提供を目指して事業を行ってきた。事業の実施状況は次のとおり。

1. 事業の内容

(名 称)

幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園の経営

保育所すくすく園の経営

特別養護老人ホーム会津みどりホームの経営

会津みどりホームデイサービスセンターの経営

あいづ南花畑デイサービスセンターの経営

会津みどりホーム居宅介護支援事業所の経営

会津若松市若松第4地域包括支援センターの経営

短期入所生活介護事業所会津みどりホームの経営

放課後児童健全育成事業東山こどもクラブの運営（保育所すくすく園）

放課後児童健全育成事業行仁こどもクラブの運営

(幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園)

放課後児童健全育成事業鶴城こどもクラブの運営（保育所すくすく園）

2. 法人役職員

代表理事	大島 一浩	(前特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長)
業務執行理事	渡辺 直人	(元会津風雅堂館長)
"	板橋理香子	(保育所すくすく園園長)
"	白石由紀子	(幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園園長)
"	鈴木かおる	(特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長)
"	小山 香織	(短期入所生活介護事業所会津みどりホーム管理者)
理 事	川島安紀子	(特定非営利法人理事長)
"	谷川香代子	(前保育園園長)
監 事	荒海 健	(元西会津町振興公社統括部長)
"	岡崎 達也	(元会津若松市社会福祉協議会事務局長)
評 議 員	伊藤 禮子	(元会津長寿園事務局長)
"	大須賀美智子	(元県人事委員会委員長)
"	川口 孝司	(元県保育協議会会長)
"	菊池 芳次	(元神指地区区長会長)
"	酒井 完	(元神指地区民生児童委員)
"	佐藤 憲	(元会津若松地区保護司会副会長)
"	田澤 和子	(元日新地区民生児童委員)
"	蓮沼 恭子	(元会津若松市保育所長)
"	増戸 尚	(社会福祉法人博愛会嘱託医師)
"	武藤 光榮	(城北コミュニティーセンター会長)

苦情解決委員会 江川 辰也 (元会津若松市代表監査委員)
(第三者委員) 蓮沼 恭子 (社会福祉法人博愛会評議員)

入所検討委員会 渡部 淳 (会津若松市自立支援協議会会長)
(第三者委員) 小沼 昭子 (元民生児童委員)

3. 施設の長・管理者

統括施設長 大島 一浩 (老人福祉施設)
施設長 鈴木かおる (特別養護老人ホーム会津みどりホーム)
管理者 小山 香織 (短期入所生活介護事業所会津みどりホーム)
管理者 一条真左美 (会津みどりホームデイサービスセンター)
管理者 梅宮和嘉子 (あいづ南花畑デイサービスセンター)
管理者 中川 幸子 (居宅介護支援事業所会津みどりホーム)
管理者 星 和子 (会津若松市若松第4地域包括支援センター)
園長 白石由紀子 (幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園)
園長 板橋理香子 (保育所すくすく園)

4. 土地、建物(基本財産)の状況

(所在地)	(地目、用途及び面積)
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	宅地 12,029.93 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2	宅地 5,197.84 m ²
会津若松市本町 556 番 2 他 4 筆	宅地 2,027.66 m ²
会津若松市南花畑 142 番 3	宅地 897.93 m ²
会津若松市東千石二丁目 128 番	宅地 296.07 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	
会津みどりホーム園舎及び機械室園舎 (3 棟)	3,812.01 m ²
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2、55 番地 1	
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム園舎及び機械室 (2 棟)	2,139.84 m ²
会津若松市本町 556 番地 2、556 番地 3 及び 560 番地	
あいづ博愛こども園園舎 (2 棟)	613.73 m ²
会津若松市東千石二丁目 197 番地	
すくすく園園舎 (1 棟)	586.34 m ²
会津若松市南花畑 142 番地 1、141 番地 1 及び 142 番地 3	
あいづ南花畑デイサービスセンター園舎 (1 棟)	666.18 m ²

5. 法人事業計画実施状況

令和6年度は、短期入所生活介護事業所の特別養護老人ホームへの併設化と合わせ、法人の主たる事務所の所在地を特別養護老人ホーム所在地に移すこととし、理事会並びに評議員会の承認を得て、3月に法務局への変更登記が完了した。

事業運営に関して、高齢者施設では令和7年度適用に向け、新たな介護職員処遇改善手当の支給の範囲や要件、キャリアパス制度導入との連動性など見直しと導入準備をおこなった。

感染症に関して高齢者施設では、これまで同様に利用者や職員の安全を優先した感染対策を実施

継続してきた。しかし、1月に特別養護老人ホームにおいてコロナウイルスとインフルエンザにより利用者と職員の集団感染が発生し、収束までに3週間程度の期間を要した。

短期入所生活介護事業所や両デイサービスセンターでもコロナウイルスの散発的な感染報告があり感染拡大防止に努めた。

児童福祉事業において日常での園児のマスク着用は減少し、以前のコロナウイルス発生前の生活環境に戻りつつある中、感染対策を図りながら日常の保育教育に注力した運営をおこなってきた。

冬季にはインフルエンザやノロウイルスが流行し、園児と職員で10名を超える感染があり行政報告を行った。こどもクラブでも同様に、感染症の発生が散発的にあり感染拡大防止に努めた。

その他、重点事項については、下記のとおり。

〔1〕高齢者福祉施設の中長期計画の実施

令和7年度の短期入所生活介護事業所と特別養護老人ホームの併設化を計画的に進め、人員の配置や業務の見直しなど一体的な運営に統合できるよう準備を行った。

また、勤怠管理システムの導入については、令和7年4月からの本格運用を見据え2月から試運用を開始した。

介護職員初任者研修課程については昨年に引き続き開催し、7名の受講者があり、うち1名が新年度採用につながった。

その他、各事業所においても設備の更新やICT機器の導入、研修の開催など計画に基づき実施した。

〔2〕児童福祉施設の中長期計画の検討

あいづ博愛こども園は、園舎の耐震基準適合に向けた改築の必要性が認められ、全体的な建替えか部分改築かなどについて、中長期的な実施計画を策定することとした。

また、すくすく園については幼保連携型認定こども園への移行に向けた、園地拡大のための隣地取得が完了し、園舎建替えに向けた検討を進めた。

〔3〕法人事務局所掌統括事務の検討

法人の主たる事務所の移転と合わせ、法人事務局の特別養護老人ホーム総務事務係との事務所統合及び業務連携に向けた検討と準備を進めた。

法人監事による事業所上期監査では、特別養護老人ホーム並びに若松第4地域包括支援センター及びあいづ博愛こども園において、年度中期での事業等の進行管理及び法令遵守並びに組織内部体制が適切に行われているか検証を行い、適正に運営されていることが確認された。

〔4〕近隣法人連携による相互協力及び地域支援の実施

火災発生を想定した避難訓練を実施し、社会福祉法人若樹会（ふくしの家）や療育会（アガッセ）からの応援駆けつけを受けるなど連携して実施した。また、市内の社会福祉法人与災害協定を締結した。

〔5〕福島県指導監査並びに実地監査の実施

居宅介護支援事業所会津みどりホームが、令和7年1月に会津若松市の実地指導を受審するも改善報告を要する事項は無かった。

あいづ博愛こども園並びにすくすく園については、令和6年12月に福島県保健福祉課の書面監査を受審する。両園とも改善報告を要する事項はなかった。

6. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催状況

理事会では定款の定めに従い、予算、決算、規則規程の改正、事業計画及び事業報告等の様々な議案決議や報告をおこない、重要な事項に関しては議決機関である評議員会の承認を得た。また評

議員の退任により、評議員選任解任委員会を開催して新たな評議員の選任をおこなった。

区 分	理事会		評議員 委員会	選任 委員会	主な審議事項及び報告事項
	理事	監事			
5 月 30 日	8	2	—	—	・ 令和 5 年度事業報告、計算書類・財産目録の承認 ・ 令和 6 年度補正予算 ・ 定時評議員会招集の件
6 月 6 日	9	2	—	—	・ 不動産取得契約
6 月 21 日	9	2	9	—	・ 令和 5 年度事業報告、計算書類・財産目録の承認
6 月 26 日	9	2	—	—	・ 契約の締結
9 月 26 日	9	2	—	—	・ 規則・規程の改正 ・ 令和 6 年度補正予算 ・ 評議員選任・解任委員の選任 ・ 評議員候補者の推薦 ・ 法人事務局所在地の変更
10 月 10 日	—	—	—	3	・ 評議員の選任
12 月 3 日	9	2	—	—	・ 定款の変更 ・ 規則・規程の改正 ・ 令和 6 年度補正予算 ・ 統括施設長の選任 ・ 評議員会招集の件
3 月 3 日	—	—	10	—	・ 定款の変更
3 月 18 日	8	2	—	—	・ 令和 6 年度補正予算 ・ 令和 7 年度事業計画、事業予算 ・ 規則・規程の改正 ・ 次期評議員候補者の推薦 ・ 施設長等の選任 ・ 契約の締結 ・ 認定こども園「すくすくこども園（仮称）」の整備計画

7. 情報公開、開示

ホームページを利用し当法人の事業状況及び財務諸表について情報の公開をした（財務諸表については、平成 24 年度分から開示している）。

8. 苦情解決にかかる苦情の内容と解決結果数

苦情への円滑な対応を図るために、第三者委員、苦情解決責任者及び苦情受付担当者として構成する苦情解決委員会を年 2 回開催し、苦情の内容や解決結果について検討し改善を図った。処理件数や内訳、概要は次のとおり。

区分	処理 件数	苦情の内容			
		職員の処遇 (対応・言葉遣い)	説明・情報提供	被害・損害・事故	その他
総 数	6	1	3	1	1
特別養護老人ホーム会津みどりホーム	1	—	—	—	1
会津みどりホームデイサービスセンター	1	—	1	—	—
あいづ南花畑デイサービスセンター	1	—	1	—	—
居宅介護支援事業所会津みどりホーム	2	1	1	—	—
保育所すくすく園	1	—	—	1	—

〔概要〕

施設名	概要
特別養護老人ホーム 会津みどりホーム	・病院からの請求書がなぜ4ヶ月も過ぎたあとに届くのか。
会津みどりホーム デイサービスセンター	・デイサービスでコロナ感染者が出ている場合は、入居する有料ホームだけでなく家族にも連絡して欲しい。知らずに面会に行ってしまった。
あいづ南花畑 デイサービスセンター	・利用者にコロナ感染者が出たと連絡があり、その状況で利用するかと聞かれたが、自己責任で判断するのか。感染対策などの説明が必要ではないか。
居宅介護支援事業所 会津みどりホーム	・オムツ券申請を何度も頼んでいるのに、対応してもらえない。 ・感染症発症から1週間が経過し、サービスが利用できると思って迎えを待っていたが来なかった。ケアマネからも事業所からも連絡がなかった。
保育所すくすく園	・家のフェンスに職員の車がぶつかって止まっていた。

9. 永年勤続表彰式

永年に渡り誠実に勤務した職員の功労を称え表彰した（令和6年11月22日開催）。

表彰内容	所 属	氏 名
40年勤続表彰（1名）	保育所すくすく園	梅津真理子
30年勤続表彰（10名）	特別養護老人ホーム会津みどりホーム	大島一浩
		鈴木かおる
		佐藤 長子
		林 美和
		三瓶 博
		目黒 宏伊
	会津みどりホームデイサービスセンター	大江 聖治
	会津若松市若松第4地域包括支援センター	星 和子
	法人事務局	小沼 隆弘
20年勤続表彰（3名）	短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	小山 香織
	保育所すくすく園	瓜生 希
	特別養護老人ホーム会津みどりホーム	新井田咲子
10年勤続表彰（13名）	幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	岩橋あずさ
	幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	鈴木 元美

	特別養護老人ホーム会津みどりホーム	浅井 亜美
		佐藤 千尋
		渡部さゆり
		菅家 睦美
		菊地 周一
	短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	渡辺 綾華
		菊地 傳
		大津 勝博
	居宅介護支援事業所会津みどりホーム	秋山 結香
	会津若松市若松第4地域包括支援センター	一ノ瀬美鈴
		五十嵐春世
	あいづ南花畑デイサービスセンター	原山 登

10. 叙勲の受章

令和6年春の叙勲において、前博愛園園長の森田美智子氏が瑞宝単光章を受章されました。

11. 役職員の研修実施状況

計画に基づく各種研修会については、新型コロナウイルス感染症予防のもと規模や実施内容を工夫し、下記のとおり主催開催した。また外部研修についても、派遣やオンライン研修で必要な情報を得るように努めた。

〔主催研修〕

研修月日	研 修 名	出席者数	研 修 場 所
4月1日	新採用職員基礎研修 「新採用職員の心得・服務規律について」 「各事業所の役割について」他 代表理事・事業所長等	職員 12 名	短期入所生活介護 事業所会議室
6月27日 7月11日	中堅職員研修 「中堅職員のキャリアデザイン」 (社福) 福島県社会福祉協議会 人材研修部長 高岡 寿哉 氏 代表理事	職員 17 名	特別養護老人ホーム 介護者教育室
1月14日	法人研修・リーダー研修 「リーダーシップから学ぶマネジメント」 ミライズ株式会社 専務取締役 高橋理里子 氏	職員 22 名	短期入所生活介護 事業所会議室
2月14日	ハラスメント研修 「ハラスメント防止研修」 株式会社TMC経営支援センター 小林 健作 氏	全職員 当日:職員 27 名 不参加者:Zoom 録画視聴	短期入所生活介護 事業所会議室 (Zoom 併用開催)

〔外部研修〕

研修月日	研 修 名	出席者	研 修 場 所
7 月 9 日	福島県社会福祉法人経営者協議会総会・セミナー	大島代表理事	ビッグパレットふくしま
1 月 24 日	社会福祉法人役員等対象研修会	小沼局長・北澤主査 ・小高事務局員	オンライン受講

〔人材育成内部研修〕

研修月日	研 修 名	出席者数	研 修 場 所
6 月 6 日 ～9 月 26 日	介護支援専門員養成勉強会（全 9 回） 法人各事業所 介護支援専門員	職員 16 名	短期入所生活介護 事業所会議室
11 月 15 日	新人対象研修（3 年未満） 「福祉職員の職業倫理・報連相ができる人になろう」 法人 人材育成委員会	職員 11 名	短期入所生活介護 事業所会議室

令和6年度 老人福祉施設部門事業報告

[1] 特別養護老人ホーム会津みどりホーム（空床型短期入所含）

[1] 事業の運営総括

- 重点事業として掲げた、自立支援、重度化防止の取組みでは、毎月の介護力向上委員会において、対象利用者の支援ケア内容を検討し、認知症状や歩行能力の改善に繋げることができた。スキンケア委員会では、皮膚トラブル予防に関する事例検討会を行いその結果、職員の意識が高まり、皮膚トラブルが昨年より減少した。
- 感染対策を図りながら、ご家族との対面での面会や外出支援（買い物・散髪・ドライブ）衣料品販売やヨークベニマル様のご協力により移動スパーが月2回来園し、お買い物の楽しさを味わうことができ大好評となっている。また、季節の行事の開催や行事食等楽しみある活動的な生活の場が提供できるよう努めた。
- 継続して感染予防対策を行ってきたが、1月にインフルエンザA型及び新型コロナウイルス感染症の同時発生により、利用者42名職員13名総数55名が罹患した。法人内の事業所の協力の下、感染対策の徹底を図り、発症から約3週間で終息することができたが、罹患後の二次的弊害により入院者が増え、その影響が3月まで及んでしまった。
- 施設設備としては、一般浴室の改修工事と機械浴室に新しい入浴機器の導入を行った。個室改修工事（12部屋）については着工後、感染症がまん延した関係で、工事を一時中断したことで令和7年度へ改修工事を継続することとなった。また、3月に多目的ホール、事務室の床及び会議室の床と壁の張替えを実施した。
- 今年度は高齢者施設全事業所において、みどりフェスティバル（地域交流）を開催し、多くの方にご来場いただき、地域の方との交流を深めることができた。また、神指小学校への福祉出前講座や介護予防教室へ講師として出向いた。
- 利用率94.49%（空床型短期入所者・措置入所者含） ※目標利用率97.0%

[2] 介護老人福祉施設・特養保険者（出身地別）利用者状況（各月1日現在の在籍者）

市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
会津若松市	93	89	86	93	91	91	88	86	97	90	97	85	1,086
会津坂下町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
会津美里町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
磐梯町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
南会津町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
浪江町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
喜多方市	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
合計（人）	98	98	95	98	96	96	94	91	92	95	92	90	1,135

[3] 介護老人福祉施設・特養利用者年齢別状況（令和7年3月31日現在）

年齢区分（歳）	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
性別													
男性	1	1	5	5	2	8	5	2	0	29	97	52	79.9
女性	1	1	3	4	13	19	17	11	2	71	104	63	87.7
合計（人）	2	2	8	9	15	27	22	13	2	100			85.4

[4] 介護老人福祉施設・特養入所利用期間（令和7年3月31日現在）

期間	1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10年～	合計（人）	平均期間（年・月）
性別							
男性	9	16	1	1	2	29	2年9カ月
女性	20	30	11	8	2	71	3年2カ月
合計（人）	29	46	12	9	4	100	3年1カ月

5 介護老人福祉施設・特養入退所状況（令和7年3月31日現在）

月	入所者状況（人）				退所者状況（人）			
	男性	女性	入所前状況（人）	計	男性	女性	退所理由（人）	計
令和6年4月	0	2	有料老1、在宅1	2	1	1	死去1 契約解除1	2
5月	0	0		0	1	2	死去1 契約解除2	3
6月	1	3	有料老2 老健2	4	0	1	死去0 契約解除1	1
7月	1	1	在宅2	2	1	2	死去0 契約解除3	3
8月	0	1	在宅1	1	0	1	死去0 契約解除1	1
9月	0	3	在宅1 病院1 有料老1	3	1	4	死去3 契約解除2	5
10月	1	3	在宅2 有料老1 老健1	4	0	7	死去2 契約解除5	7
11月	1	2	在宅2 老健1	3	0	2	死去0 契約解除2	2
12月	3	1	在宅2 有料老1 老健1	4	0	2	死去1 契約解除1	2
令和7年1月	0	0		0	1	2	死去1 契約解除2	3
2月	0	3	在宅3	3	1	3	死去1 契約解除3	4
3月	2	3	在宅1 老健3 有料老1	5	0	0	死去0 契約解除0	0
合 計	9	22		31	6	27		33

入所 在宅（15名）老健（8名）有料老（7名）病院（1名）

退所 死去（10名） 契約解除（23名）

6 介護老人福祉施設入所待機者数（令和7年3月31日現在）

令和6年4月1日～令和7年3月31日現在までの申込者数167名（男性56名、女性111名）

総待機者数355名（男性118名・女性237名）（前年比 －134名）

7 介護老人福祉施設・特養（空床型短期含）利用実績

月	当月利用者 延人数 (人)		要介護区分										延日数 (日)	利用率
			要介護 1 以下		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5			
			利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数		
合計	特養	1,161	12	365	46	1,386	246	7,353	560	15,743	299	8,384	33,231	94.49%
	措置	44	0	0	13	368	18	515	10	306	2	48	1,237	
	短期	1	0	0	2	22	0	0	0	0	0	0	22	
総合計		1,206	12	365	61	1,776	264	7,868	570	16,049	301	8,432	34,490	
										平均介護度		令和6年度		3.91
												令和5年度		4.04

① 介護老人福祉・特養施設事業状況

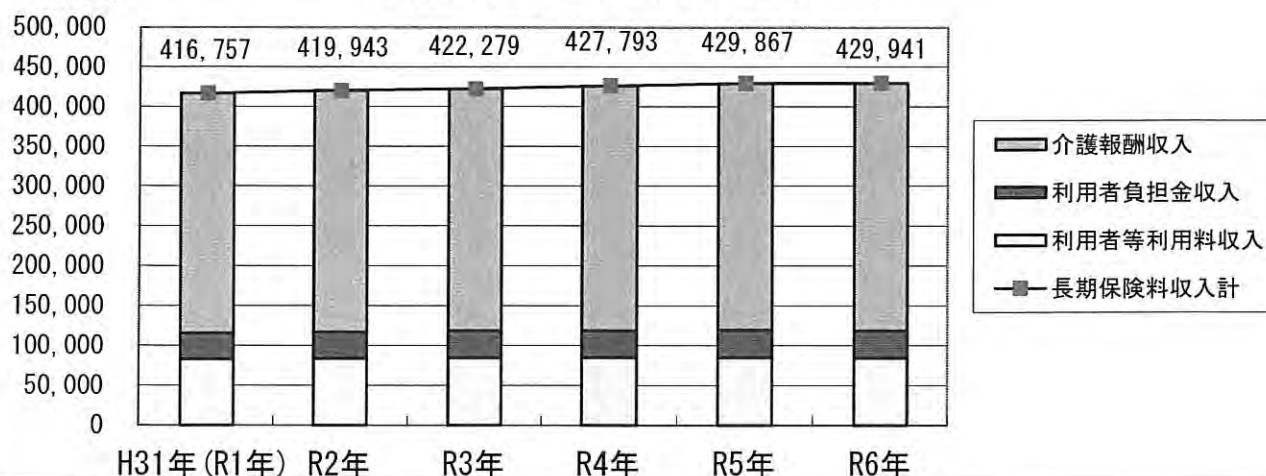
介護報酬の推移（長期・空床短期）

（円）

	H31年(R1年)	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	300,968,071	303,131,602	303,880,574	307,181,686	309,826,549	310,809,930
利用者負担金収入	32,762,892	33,448,753	34,134,741	34,260,658	34,541,925	34,465,255
利用者等利用料収入	82,660,317	83,363,287	84,263,979	84,536,698	84,876,026	84,421,215
長期保険料収入計	416,391,280	419,943,642	422,279,294	425,979,042	429,244,500	429,696,400
介護報酬収入	265,734	0	0	1,276,965	466,848	174,906
利用者負担金収入	29,525	0	0	146,950	49,153	18,284
利用者等利用料収入	71,160	0	0	390,416	107,270	51,515
空床短期保険料収入計	366,419	0	0	1,814,331	623,271	244,705
長期・短期保険料収入計	416,757,699	419,943,642	422,279,294	427,793,373	429,867,771	429,941,105

（千円）

介護保険収入状況（長期・空床短期）



利用者数と利用率の推移（長期・空床短期）

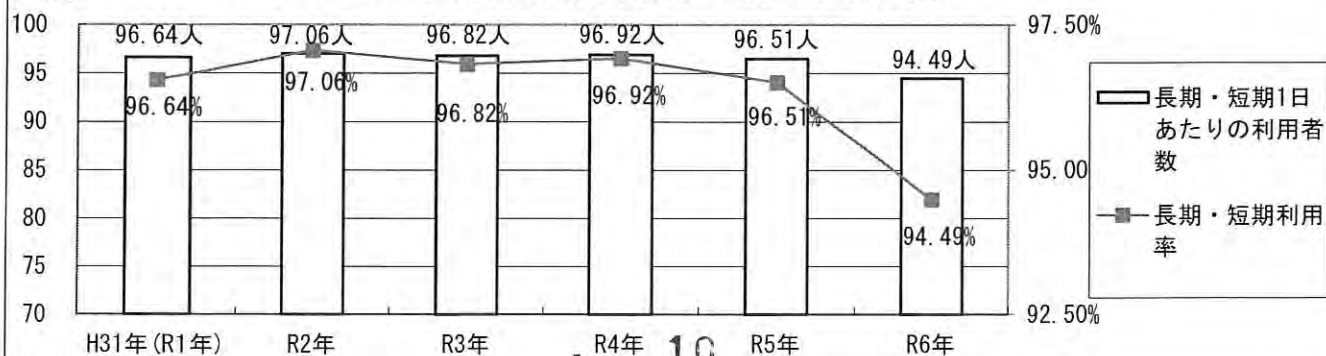
（定員100人）

	H31年(R1年)	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
長期利用延べ日数	35,338	35,428	35,342	35,207	35,273	34,468
長期1日あたりの利用者数	96.55	97.06	96.82	96.45	96.37	94.49
長期利用率	96.55%	97.06%	96.82%	96.45%	96.37%	94.49%
空床短期利用延べ日数	35	0	0	169	51	22
長期・短期利用延べ日数合計	35,373	35,428	35,342	35,376	35,324	34,490
長期・短期1日あたりの利用者数	96.64	97.06	96.82	96.92	96.51	94.49
長期・短期利用率	96.64%	97.06%	96.82%	96.92%	96.51%	94.49%

※長期措置入所の収入及び延べ日数については、長期利用分に含む。短期措置入所の収入及び延べ日数は、空床短期利用分に含む。

（人）

1日当たりの利用者数と利用率（長期・空床短期）



9 事業経営成果
(1) 総務・施設

重点目標	実施状況
【施設設備改修・更新】	
①令和5年度より計画していた一般浴の改修工事を実施し、利用者の方に快適な入浴環境の提供を図ります。	① 令和6年10月に一般浴室（第1期工事）、11月に一般浴室（第2期工事）、12月に機械浴室（第3期工事）を実施した。また、新しい入浴機器の導入を行った。
②個室の改修を行い、特別感のある快適な居室空間を作ります。	② 令和6年12月に改修工事を着工した。令和7年1月に新型コロナウイルス、インフルエンザの施設内感染があり、工事を一時中断したため、令和7年度へ改修工事を継続することとなる。
③長年の蓄積された汚れが目立つ多目的ホール、会議室、事務室の床の張替えを実施します。	③ 令和7年3月に多目的ホール、事務室の床及び会議室の床と壁の張替えを実施した。
【非常災害対策】	
①感染症拡大防止対策として、感染対策物品の安定提供と適正な在庫管理に努めます。	① 感染症対策物品の在庫管理を定期的に行ったことにより、感染症が発生した際に初動対応時の物品を安定供給することができた。また、感染症対応期間において、必要となる物品が変化するなか適宜対応することができた。
【安定経営】	
①介護報酬改定の内容の情報収集を行い、新要件を確認し事業所内での情報共有を行い、安定した施設経営に努めます。	① 新たな加算について、事業所内で要件等を情報共有することができた。また、認知症リーダー研修修了者が加算要件に該当したことで、認知症専門ケア加算を取得した。

(2) 生活相談

重点目標	実施状況
①安定した稼働率を達成する為、空床期間の短縮を図れるよう入所待機者の早めの実態調査を行い、常に実態調査が済んだ利用者様がするようにします。また、入所に関する書類も早めに送付します。 ②欠員が生じてから新規入所者を迎えるまでの期間について、2週間以内を目標とします。 ③入院等による空きベッドが生じた際には、法人内短期事業所や居宅、包括支援センターと連携を図り、短期利用者の受け入れを行います。	① 令和6年度の退所者数は33名だった。空床期間2週間 ② 以内を目標に取り組んだが、空床期間の平均は22日 ③ 間であった。感染症による入院・退所や感染対策による入所、実態調査の延期等があり、2週間以内に入所日を調整することが出来ないことがあった。新年度も早めの実態調査を行い、空床期間短縮に努めていく。
①インテークを担当する係として、日頃から話しかけやすい雰囲気作りと丁寧な説明を行います。 新型コロナウイルスの感染対策の為、電話にての相談受付も多くなっており、顔が見えない中での対応であることを意識し、声のトーン等に気を付けて対応します。（施設入所者だけでなく、関係機関や行政とのやり取り、入所申込の相談等）また、インターフォンへの素早い来客対応を行っていきます。	① 令和2年4月から新規入所される方には、職員の顔写真入りの紹介用紙をお渡しし、担当者が分かりやすいよう令和6年度も継続している。また、話しかけやすい雰囲気作りや相手の方に不快感を与えないように説明や挨拶を行ってきた。
① 地域貢献活動を行います。（地元小学校や保育園との交流会・福祉出前講座の開催） ② 若松第4包括支援センターからの依頼があれば、キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座の講師も行っていきます。	① 新型コロナウイルス感染予防の為、保育園との世代間交流会は行う事ができなかったが、令和6年9月に神指小学校にて福祉出前講座を開催することができた。

①ボランティア受入れ状況

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為、ボランティアの受け入れを縮小・代替する。

月	ボランティア機関(内容)	月	ボランティア機関(内容)
4月	なし	10月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化） 5日
5月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化）12日 会津二胡アンサンブル（新緑会） 29日	11月	北会津ホテルの里そば倶楽部（新そば会） 12日
6月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化）23日	12月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化） 1日
7月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化）14日	1月	なし
8月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化）4日	2月	なし
9月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化）4日	13月	会津若松市赤十字奉仕団神指分団（環境美化） 16日

(3) 栄養・調理

重点目標	実施状況
【個々の状態の変化に応じた栄養管理・楽しみのある食事環境作り】	
①利用者の食事状況の変化を多職種（短期・みどりデイサービス含む）で共有し、適切な栄養管理に努めます。 ②食に関わるイベントで積極的に利用者に関わる時間を増やし、楽しみのある環境作りに努めます。	① 特養に関しては毎日のミーティングやカンファレンスへの参加、各種会議の内容を職員全員で共有し、タイムリーな食事変更にも対応することで適切な栄養管理ができた。 ② 夏祭りやクリスマス会その他、グループ行事等では介護職員と協力しながら、利用者と積極的に関わる時間が作れた。次年度は栄養調理係主体の食事イベントを開催したい。
【業務内容の改善・スキルアップ】	
①定期的に業務内容の見直し、業務の効率化に努めます。 ②外部・内部研修や勉強会に積極的に参加します。また、食中毒や衛生管理についての内部研修を開催します。	① 完全調理品を導入し、人員が少なくても安定した食事が提供できるシステムを構築できた。また、正職員と臨時職員の業務内容を見直し、誰もが同じ業務をこなせるようにすることで、急な勤務変更にも対応できるようにした。 ② 施設内の勉強会に積極的に参加できた。また、12月に食中毒についての内部研修を開催した。
【安心・安全・安定の食事提供】	
①小さなミスも全員で共有することで、リスク管理意識を高め、配膳ミス・異物混入ゼロに努めます。 ②毎月清掃チェック表の担当者が責任をもって清掃することで、厨房内の衛生管理に努めます。 ③緊急時マニュアルのシミュレーション（訓練）を実施します。（年2回）	① 事故報告案件はなかったことは良かったが、気づきによるヒヤリハットの報告が少なかったため、もう少し積極的に共有することが必要だったと感じる。 ② 清掃については毎月の清掃チェック表に基づいて清掃できていた。 ③ 緊急時マニュアルのシミュレーションについては、防災委員会を中心に12月に非常電源の切り替えや災害時・緊急時の備蓄品の確認を行った。
【地域に向けての情報発信】	
①包括支援センター主催の地域活動への参加・広報誌（みどりのたより）に栄養指導や献立の記事を掲載する等で情報を発信します。 ②実習生（栄養士資格取得）の受け入れを行います。	① 包括支援センターから講師の依頼があり、計3回予防教室へ参加、地域住民対象に栄養教室を行った。広報誌には行事食の様子の記事に掲載した。 ② 9/2～9/13の10日間、会津大学短期大学部より栄養士資格取得の為の実習生2名の受け入れを行った。

①栄養管理状況（食事の状況）

(令和6年3月31日現在)			
		食事数	割合 (%)
食 事 形 態	常食	18	18.0%
	一口大	21	21.0%
	ソフト	31	31.0%
	ミキサー	20	20.0%
	流動食(経管栄養)	10	10.0%
		100	
特 別 食	(腎臓病食)	0	1.0%
	(脂質異常症食)	0	0.0%
	(糖 尿 食)	7	7.0%
	(減 塩 食)	10	10.0%

(令和7年3月31日現在)			
		食事数	割合 (%)
食 事 形 態	常食	17	17.0%
	一口大	24	24.0%
	ソフト	33	33.0%
	ミキサー	20	20.0%
	流動食(経管栄養)	6	6.0%
		100	
特 別 食	(腎臓病食)	0	1.0%
	(脂質異常症食)	0	0.0%
	(糖 尿 食)	13	13.0%
	(減 塩 食)	5	5.0%

○令和6年度と令和7年度を比較すると、経管栄養の利用者が10人⇒6人と4人も減少している。また、常食の食事数は変わらないが、一口大・ソフトの食事数は増加傾向である。また、減塩食の提供数も増えている。

②食事行事の状況

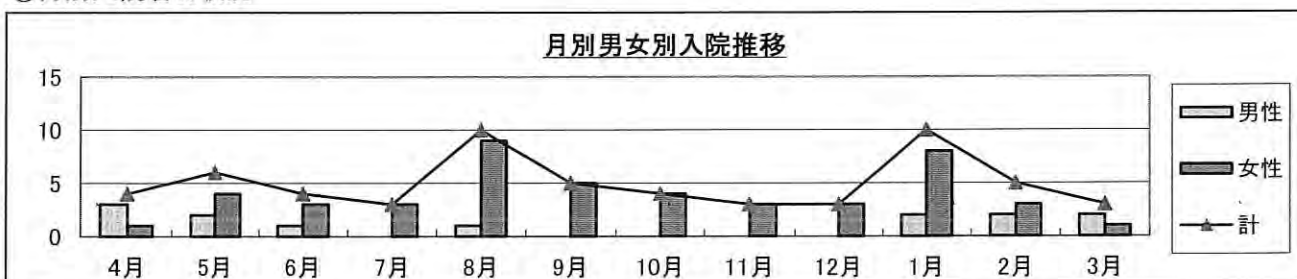
行 事 名	食 事 内 容
誕 生 会	【松花堂弁当】利用者の誕生日の昼食に聞き取りした希望の献立を提供・チョコメッセージ付のいちごのショートケーキ・プリン・生菓子
夏祭り会	焼きそば・お好み焼き・焼き鳥・焼きトウモロコシ・夏野菜のマリネ・チョコバナナクレープ
クリスマス会	ガーリックバターライス・チキンのパン粉焼き・サーモンのマリネ・エビのオーロラソース・いちごサンタのケーキ

(4) 看護

重点目標	実施状況
【安定した稼働率に向けて】 ①利用者の状態観察と健康管理を行い、異常の早期発見に努めます。 ②個人の基礎疾患を踏まえ、利用者の正確な情報を提供し、協力病院や嘱託医の指示のもと、多職種と情報を共有し看護を実施します。	①毎日の検温と状態観察を行い、他職種からの情報を得ながら早期発見に努めた。 ②多職種と情報共有を図り、症状がある時には協力病院へ報告し連携を図りながら重症化防止に努めた。
【利用者・ご家族・地域から信頼されるサービスに向けて】 ①感染予防策を徹底します。 ・最新の情報の収集と、感染予防の知識を学び、日々の感染予防を実施します。 ・内部研修を開催し、実践研修を取り入れながら職員全員が感染予防が出来るよう周知・徹底していきます ②口腔機能維持に努めます。 ・個人の状態のアセスメントを行い、個別ケアを行います。 ・経口摂取が維持できるように、多職種と連携を図ります。 ・歯科医師の指導や助言を基に、多職種と共同で口腔機能の維持を図ります。 ③褥瘡予防に努めます。 ・皮膚状態の観察を行い、異常時又は必要時は専門医に診て頂きます。 ・多職種協働で必要なケアを実施します。 ④人材育成について ・喀痰吸引の実地研修を行っていきます。 ・医療にかかわる内部研修を計画的に行っていきます。	①マニュアルの実施状況について定期的に確認を行い、また看護会議の際にPPE着脱や発生時の対応についてシュミレーションを行い感染予防に努めた。 ②月1回の歯科医師の勉強会と往診時の医師の指示のもと、適切なケアの実施を行った。 口腔チェックを行い、口腔内の状態の把握を行った。 口腔プロジェクトのフローチャートを基に、対象者には適切な対策を行った。 ③継続的に褥瘡予防に取り組み、数名の褥瘡発生がみられたが、除圧や早期の受診、ケアの見直しを行い完治することができた。 ④3名の介護職員の実地研修を修了。 救命救急(5月)医行為・看取り(12月)に関する内部研修を看護担当で実施した。
【チーム力を高める】 ①職員間でのコミュニケーションを大切にしていきます。 ②自己理解と他者理解があるという事を踏まえ、お互いに相手を理解しあいます。 ③お互いに思いやりを持ち、協力しあって問題を解決していきます。	①チーム内で円滑なコミュニケーションが図れるよう毎月の看護会議や日々の業務の中で情報交換を密にし意識の統一に務めた。 ②同じ目標達成に向けて異なる意見でもよく聞き、自分の意見もしっかり伝えるよう務めた。 ③毎日のミーティングなどを通してお互いを理解し、日々の課題解決に向けチームワークの向上に努めた。

利用者状況

①月別入院者の状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性(人)	3	2	1	0	1	0	0	0	0	2	2	2	13
女性(人)	1	4	3	3	9	5	4	3	3	8	3	1	47
計(人)	4	6	4	3	10	5	4	3	3	10	5	3	60

②入院期間の状況

入院期間	男 性		女 性		合 計	
	人数	日 数	人数	日 数		
1日～7日	3名	8日	5名	18日	8名	26日
8日～14日	6名	65日	16名	158日	22名	223日
15日～30日	2名	34日	16名	334日	18名	368日
31日～60日	1名	41日	7名	275日	8名	316日
61日～90日以上	1名	70日	3名	246日	4名	316日
合 計	13名	218日	47名	1,031日	60名	1,249日
平均入院日数	1320.8日				令和5年度 50人 917日	

(5) 介 護

重点目標	実施状況
【日常生活支援】	
① 感染症予防対策を強化し施設内での感染症発生の予防・拡大防止を図ります。 ② 褥瘡の予防に重点を置き、褥瘡発生”0”を目指します。 ③ 居室担当が中心となり、利用者の細やかな情報を発信し、全職種が協同し専門性の高いケアを提供します。 ④ ご家族と情報交換を密に行い利用者の生活支援に活かしていきます。 ⑤ 利用者の希望に沿って、買い物などの外出・出前等楽しみある生活が送れるように支援します。	① 利用者・職員の手指消毒やフェイスシールド・マスクの着用等を行い感染症予防対策を行った。しかし、令和7年1月にインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症が施設内でまん延しコロナ感染者24名、インフルエンザ感染者25名、コロナ・インフルエンザ同時感染者6名（利用者・職員の総数）が罹患してしまった。 ② 毎月開催しているスキンケア委員会で、皮膚トラブル予防に関する事例検討会を行った。その結果、職員の意識が高まり、皮膚トラブルが令和6年度（65件）から令和7年度（12件）に減少した。 ③ 居室担当が中心となり、利用者の状況を発信し、その時の状況に応じた最適なケアが提供出来た。 ④ 面会や、毎月のご家族へのお手紙等を通じてご家族との情報交換を密に行い生活支援に活かす事が出来た。 ⑤ 利用者の要望に応じて買い物支援や出前昼食会を適宜開催し楽しみある生活が送れるように支援した。
【働きやすい職場の醸成】	
① 介護の専門性を高める為、職員の階層に応じたテーマ別研修を企画します。また、事例検討会を定期的で開催し職員の”考える力”を育てます。 ② 新人職員が安心して働けるように、プリセプター制度を継続運用します。 ③ より働きやすい職場環境を目的に、眠りscan（注釈1）離床センサー等ICT機器を積極的に取り入れます。また、ICT機器を活用し自立支援ケアに繋げていきます。	① 法人全体の階層別研修会に参加し知識・技術の向上を図る事が出来た。また、事例検討会を毎月開催する事が出来た。 ② プリセプター制度を継続して運用し、新人育成を行った。 ③ 令和6年度も眠りscan（注釈1）を20台増設した。また、そのデータを活用し体調不良時の早期発見や日中の生活リズムの検討等に活かす事が出来た。また、スライディングボードを導入し、ホリフティング（注釈2）の実現に向けて取り組んだ。
【地域参加】	
① 地域小学校へ出向き、福祉への理解が深まるよう学習会を企画します。 ② 保育園や小学校との世代間交流を行います。	① 令和6年度も神指小学校へ出向き、福祉学習会（認知症ケア）を開催する事が出来た。 ② 新型コロナウイルス感染症対策により、令和6年度も保育園との交流会は開催する事が出来なかった。

注釈1 マットレスの下に設置したセンサーにより、体動、呼吸、心等を測定し、睡眠状態を把握するもの。

注釈2 持ち上げ・抱え上げ・引きずり等のケアを廃止し、リフト等の福祉用具を積極的に使用する。

（職員の身体に負担のかかる作業を見直す）

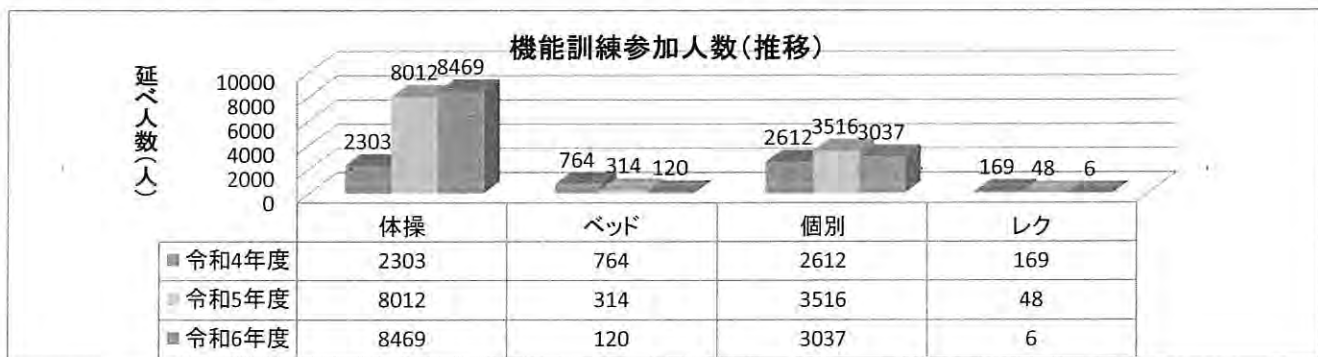
利用者を物理的に持ち上げたりすることなく適切な福祉用具や機器を活用して安全に移乗や介助を行うケアのこのケアの方法は、職員の腰痛やそのほかの身体的な負担を軽減することを目的としています。

(6) 機能訓練

重点目標	実施状況
【個別のサービス提供】	
①利用者それぞれの状態を合わせた個別機能訓練を行なうことにより、身体機能や認知機能の低下を予防し、現在行なっている日常生活動作の維持に努めます。また、利用者の変化等があった場合は、随時多職種との情報共有を図り、適切なサービス提供に繋げていきます。	①利用者それぞれの状態に合わせた訓練を実施することで、身体機能や認知機能の低下予防に努めた。また、多職種と連携しながら適宜評価し、評価結果を訓練内容に反映させるだけでなく、日常生活におけるケアにも活かせるように多職種と情報共有を図ることができた。ベッドリハの年回数や参加者人数が大きく減少しているが、個別の評価依頼が増えている傾向があり、適時一人ひとりに対して時間を掛けて対応する機会が多くなったことが要因だと考える。引き続き、個々の状態を的確に評価し、評価結果を訓練に活かしつつ、多職種へ発信していきたい。
【生活環境の設定】	
①利用者個々の身体機能に合った車椅子やベッドマットレス等の福祉用具を選定することにより、身体への負担軽減と身体機能の維持に努めます。また、適切な姿勢で過ごして頂けるように日頃から姿勢を観察し、シーティング・ポジショニングを検討していきます。	①車椅子やベッドマットレス等の選定を多職種で行なうことで、利用者の身体への負担軽減や身体機能の維持に良い影響を与えることができた。また、車椅子やベッド上のシーティング・ポジショニングも福祉用具の選定に合わせて検討することで、より適した生活環境の設定に繋がった。今後も利用者の生活環境を整えることができるよう、取り組んでいきたい。
【集団体操(おはよう体操)の実施】	
①集団体操へ参加して頂くことにより、上下肢体幹の筋力や身体の柔軟性の低下を予防します。また、定期的の実施することで、利用者の生活リズムの安定を図ります。	①集団体操へ参加して頂くことで定期的な活動の機会を確保し、筋力や身体の柔軟性の低下予防に繋がった。また、体操の年回数や参加者人数が増加傾向だったことから、体操の機会を安定して提供することができた。レククラブ(みどり学校)の年回数等が減少しているが、みどり学校(集団)としてではなく、個別に準備した計算問題や塗り絵等を各グループへ配布し取り組んだ。体操については、今後も定期的な実施の機会を確保し、利用者の生活リズムの安定を図っていきたい。
【地域への貢献】	
①第4地域包括支援センター主催の予防教室や地区での出前講座へ講師として出張することにより、地域の介護予防に貢献します。また、会津みどりホームデイサービスセンター主催の内部研修へ参加することにより、機能訓練における指導技術の向上・共有を図り、身に付けた技術をデイサービス利用者へ還元していきます。	①第4地域包括支援センター主催の予防教室には2回出張し、地域の介護予防に貢献することができた。また、会津みどりホームデイサービスセンター主催の内部研修へ3回、南花畑デイサービスセンターの利用者評価へ1回出張し、利用者の日常生活に活かされる助言を行なうことにより、共有した機能訓練に関わる技術を利用者へ還元することができた。引き続き、地域の介護予防に貢献できるよう努めていきたい。

①機能訓練実施状況

令和5年度	項目	年回数	月平均(回)	男	女	合計	1回平均(人)
	体操	144	12	2,086	5,926	8,012	56
	ベッドリハ	72	6	80	234	314	4
	個別機能訓練	207	17	958	2,558	3,516	17
	レククラブ	30	3	18	30	48	2
令和6年度	項目	年回数	月平均(回)	男	女	合計	1回平均(人)
	体操	154	13	2,187	6,282	8,469	55
	ベッドリハ	48	4	31	89	120	3
	個別機能訓練	184	15	802	2,235	3,037	17
	レククラブ	6	1	2	4	6	1



②機能訓練実施内容

おはよう体操	(月～金)	：準備体操・指の運動・リズム体操 ※感染症対策に留意し、体操の内容修正やマスク着用、換気の徹底や距離間の工夫等を行なっている。
ベッドリハビリ	(月～金)	：関節可動域訓練・ストレッチ・姿勢保持訓練(端座位・座位保持) ・ベッド上のポジショニング・寝返り動作訓練・起き上がり動作訓練
個別機能訓練	(月～金)	：車椅子自乗訓練・車椅子上のシーティング ・立位訓練・歩行訓練 ※ケアプランに基づき実施
レククラブ	(月～金)	：みどり学校(計算問題、塗り絵等)・作業訓練(巧緻動作)
その他		：身体評価・ADL評価・機能訓練カルテの作成・機能訓練計画書の作成 ・生活における福祉用具の検討や環境設定の検討等

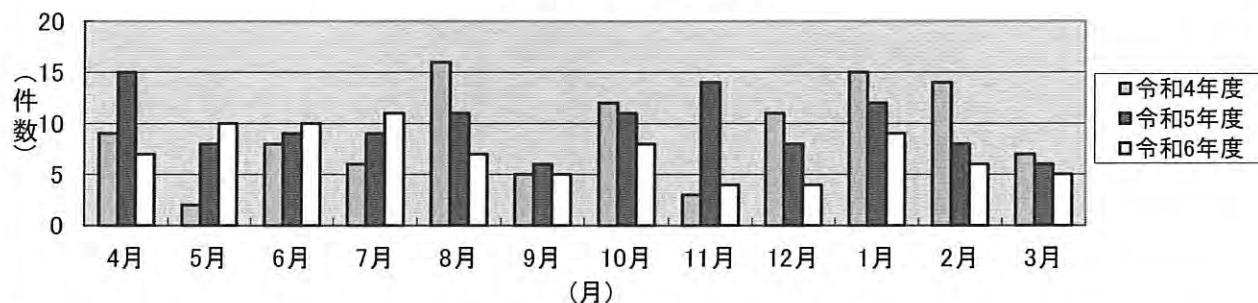
10 年間行事報告

月	全体行事	日	グループレク活動							
			第1(虹)	日	第2(団らん)	日	第3(和楽)	日	第4(太陽)	日
R6年 4月	全体お花見会 新緑会	15日	食事会 お花見会	12日 17日			出前昼食会	17日	買い物 ラーメン会 理髪外出 出前昼食会	10日 19日 19日 23日
5月	変わり湯	20日 ～ 26日	運動会 出前昼食会	20日 24日	料理教室 母の日会 出前昼食会	15日 15日 24日	たこ焼き会	26日	美容クラブ 買い物 出前昼食会	12日 15日 24日
6月	シニアリンク (衣料販売)	6日			父の日会 出前昼食会	22日 27日	ドライブ	24日～28日	出前昼食会 散髪外出 父の日会	27日 18日 19日
7月	娯楽クラブ 高齢者作品展	7日	スイカ割	25日	出前昼食会	26日			フルツレリー作り 買い物 買い物	10日 17日 18日
8月	娯楽クラブ 夏祭り	3日	アイスクリューパーティー	29日	買い物	22日			買い物 スイカ割 買い物	7日 21日 28日
9月	娯楽クラブ		敬老会	18日	出前昼食会	13日	アイスクリューパーティー	16日	買い物 買い物	10日 24日
10月	娯楽クラブ スイーツバレー	29日	芸術の秋	24日	出前昼食会 ハロウィンパーティー	25日 27日	ハロウィンパーティー	30日	焼き芋会 買い物	15日 29日
11月	娯楽クラブ ドライブ シニアリンク (衣料販売)	21日 21日			出前昼食会	14日			買い物 お楽しみ会	21日 28日
12月	娯楽クラブ 生け花 クリスマス会	29日	クリスマス会	18日	クリスマス会 出前昼食会	10日 19日	出前昼食会 おでん会	14日 20日	散髪外出 お楽しみ会	17日 18日
R7年 1月	初釜	1日								
2月	娯楽クラブ 豆まき	2日	バレンタイン	28日			バレンタイン	24日	ラーメン会	13日
3月	娯楽クラブ リフレッシュ演芸会		出前昼食会	3日	料理教室 出前昼食会 お伊勢参	5日 17日 22日			お伊勢参	14日
ボランティア 他行事	【他行事】 ・防災訓練（毎月1回） ・対話会（毎月1回） ・移動スーパー（毎月2回） 【ボランティア】 ・会津若松市赤十字奉仕団神指分団									

①月別事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
令和4年度	9	2	8	6	16	5	12	3	11	15	14	7	108
令和5年度	15	8	9	9	11	6	11	14	8	12	8	6	117
令和6年度	7	10	10	11	7	5	8	4	4	9	6	5	86

長期利用者月別報告件数

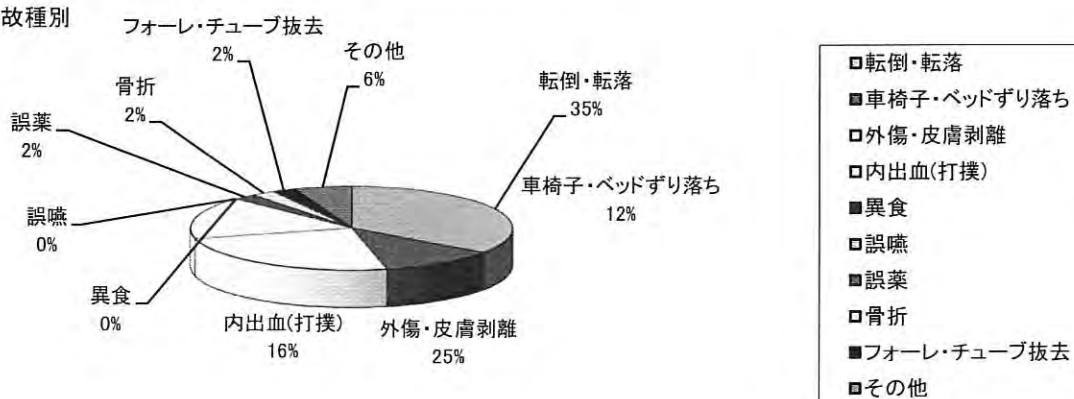


②長期利用者事故種別

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転倒・転落	3	3	2	3	2	0	3	2	0	5	4	3	30
車椅子・ベッドずり落ち	1	0	2	0	1	1	2	0	1	0	0	2	10
外傷・皮膚剥離	1	4	2	6	3	1	1	2	0	0	1	0	21
内出血(打撲)	1	2	3	2	0	1	1	0	1	3	0	0	14
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
骨折	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
フォーレ・チューブ抜去	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	5
事故合計	7	10	10	11	7	5	8	4	4	9	6	5	86
ひやりハット合計	8	1	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	17
皮膚トラブル	2	0	0	0	3	1	2	1	0	0	2	1	12

※皮膚トラブル(褥瘡・失禁関連による発赤、ただれ等)

長期利用者事故種別



12 サービス評価（施設運営チェック）自己評価の結果について

年度	基本理念	人権の尊重	自立性主体性	アセスメント ケアプラン	食事	入浴	排泄	整容・清潔	ターミナルケア	健康管理	衛生管理	機能回復訓練	レクリエーション
令和2年度	5	5	4.4	5	4.75	5	5	4.75	5	4.71	5	5	5
令和3年度	5	5	4.4	5	4.5	5	4	4.75	5	4.71	5	4.3	5
令和4年度	5	5	4.8	5	4.5	5	4.5	4.5	4.5	4.71	5	5	5
令和5年度	5	5	5	5	4.7	5	5	4.5	4.5	4.71	5	5	5
令和6年度	5	5	5	5	5	5	5	4.5	5	4.71	5	5	5

年度	移動	認知症 高齢者	事故防 止対策	災害対策	災害予防	ボランティア	他機関 連携	広報情 報開示	実習生	職員管理	事業計画 基本方針	会計処理
令和2年度	4.5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	4.8	5	3
令和3年度	5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	5	5	5
令和4年度	5	5	5	5	4.6	5	3.6	5	5	5	4.6	5
令和5年度	5	5	5	5	4.6	5	5	5	5	5	5	5
令和6年度	4.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

（評価内容）抜粋

食事	配膳時まで、温かいものは温蔵庫、冷たいものは冷蔵庫で管理している。また、直前配膳を心がけ、冷めてしまった食事は、各グループで温めてもらうような対応をしている。	移動	多種多様な車椅子の準備は行っているが、利用者の状態変化に伴ったタイムリーな車いすの変更には、他利用者の使用状況により、対応できない事もあった。
ターミナルケア	会津西病院と随時連携を図りながら早めの入院に繋げている。必要時のご家族を含めカンファレンスを実施し、状況を丁寧に説明している。	災害予防	地域近隣施設（ふくしの家・アガッセ）の合同防災訓練を実施している。

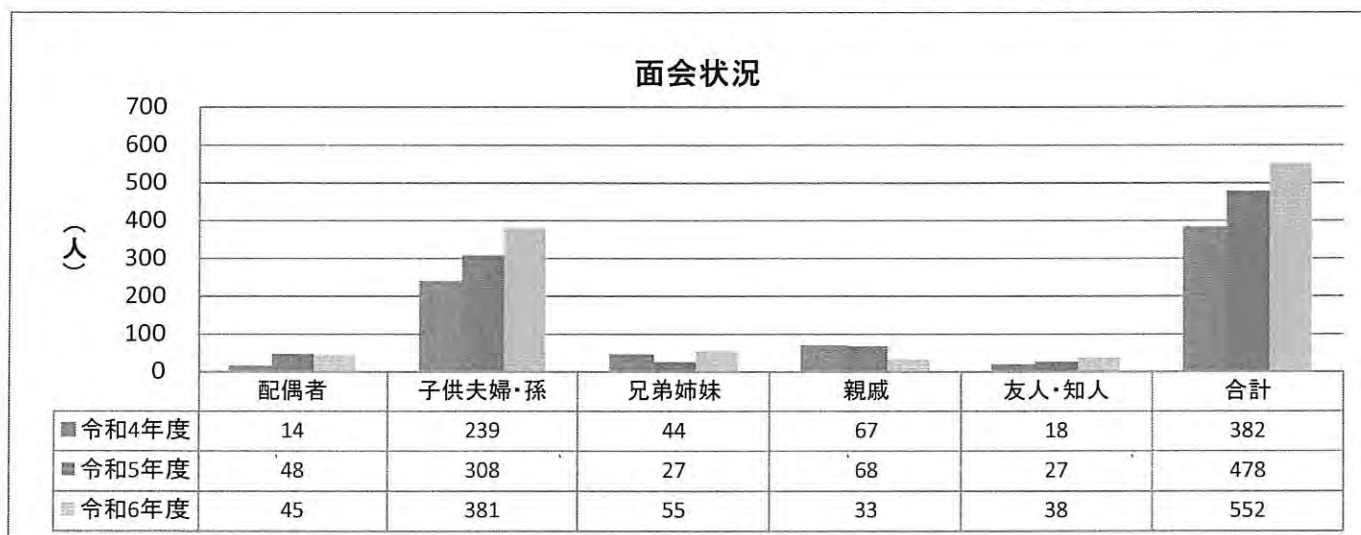
13 実習、見学受入れ状況

NO	実習依頼機関	人数	実習内容	延日数	実習期間	備考
1	会津大学短期大学部食物栄養学科	2	給食管理	8	R6.9.4～13	
	合 計	2		8		

14 面会状況

面会者 月	配偶者	子供夫婦・孫	兄弟姉妹	親戚	知人・その他	合計（人）
4月	3	26	6	6	5	46
5月	7	34	9	4	4	58
6月	6	29	5	4	5	49
7月	3	37	7	3	3	53
8月	6	33	7	3	5	54
9月	5	31	6	2	2	46
10月	2	49	8	3	3	65
11月	1	34	4	2	3	44
12月	5	43	3	2	2	55
1月	0	0	0	0	0	0
2月	3	28	0	0	2	33
3月	4	37	0	4	4	49
合計（人）	45	381	55	33	38	552

※オンライン面会（20件）は除く



15 外出・外泊状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（人）
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出泊者合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

16 職員研修受講状況

(1) 特別養護老人ホーム施設内研修

研修受講人数：延べ598人

研修名	研修内容	研修月日	受講人数	場 所
施設内部研修 (5月)	コロナウイルス対応マニュアルの説明 担当：感染プロジェクト	5月9・10・14～16日 (5日間)	54名	会津みどりホーム 会議室・多目的ホール
施設内部研修 (5月)	・事故発生時、緊急時の対応に関する研修 「事故の発生等緊急時の対応（救命救急マニュアル）」 （痙攣発生時、窒息時の対応、救急救命マニュアルについて） 担当：看護係	5月13・17・20・22日 5月24日 (5日間)	28名	会津みどりホーム 静養室
施設内部研修 (6月)	・個人情報保護、倫理及び法令順守について 「苦情解決・個人情報保護・職員倫理について」 担当：総務係	6月14～20日 (5日間)	86名	会津みどりホーム 多目的ホール・リモート
施設内部研修 (7月)	・褥瘡対策に関する研修 「実践と褥瘡予防」 担当：スキンケア委員会	7月10・18・22・23日 7月25・30日 (6日間)	34名	会津みどりホーム 会議室
施設内部研修 (8月)	・褥瘡対策に関する研修 「褥瘡予防について事例検討」 担当：スキンケア委員会	8月8・12・19・26日 9月15日 (5日間)	17名	会津みどりホーム 静養室
施設内部研修 (9月)	・身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修 「身体拘束廃止指針と高齢者虐待防止について」 担当：生活相談係	9月11～13・17・19日 (5日間)	34名	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (10月)	・感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防止 「感染予防の基礎知識とマニュアルの説明」 （インフルエンザ・ノロウイルス・吐物処理等） 担当：感染プロジェクト	10月21・25・26・28日 10月29日 (5日間)	33名	会津みどりホーム 介護室・多目的ホール
施設内部研修 (11月)	・身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修 「身体拘束廃止指針と高齢者虐待に関する指針について」 担当：安全対策	11月25・27日 12月2・3・9日 (5日間)	44名	会津みどりホーム 会議室
施設内部研修 (11月)	・事故発生予防、その再発の防止に関する研修 「介護事故発生防止に関する指針について」 担当：安全対策	11月25・27日、 12月2・3・9日 (5日間)	44名	会津みどりホーム 会議室
施設内部研修 (12月)	・看取りに関する研修「看取り・医行為について」 ・感染症及び食中毒の発生予防及びまん延の防止に関する研修「食中毒について」 担当：看護係・栄養調理係	12月1・17・19・20日 12月23日 (5日間)	46名	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (3月)	・事故の発生予防、その再発の防止に関する研修 「リスクマネジメントについて」 担当：安全対策	3月18・20・21・24日 3月25日 (5日間)	32名	会津みどりホーム 会議室・多目的ホール
施設内研修 (3月)	・腰痛予防について 担当：機能訓練係	3月6・7・11・14・17日 (5日間)	64名	会津みどりホーム 会議室・リモート
口腔ケア 勉強会	・オーラルフレイルについて ・歯周病のメカニズムについて ・顎骨壊死について ・口腔内の清潔保持について ・口腔カンジタ症について ・バイオフィルムについて ・非菌原性歯痛について ・入れ歯の吸着について ・認知症について 講師：石田中央歯科 石田 高俊 氏	4月～2月 (全11回)	60名	会津みどりホーム 介護者教育室
新採用研修	・介護現場におけるコミュニケーション ・感染予防対策について ・口腔ケアについて ・スキンケア（褥瘡予防）について ・個人情報保護、苦情解決、職員倫理について ・災害時及び感染時のBCPについて ・各係の役割と取り組みについて	6月4日、11月5日	22名	会津みどりホーム 会議室・多目的ホール

17 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
4月15日 ～3月31日	認知症チームケア推進研修	認知症介護研究 ・研修センター	5名	オンライン研修
4月25日	県老人福祉施設協議会総会 及び施設長研修会	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ビッグパレットふくしま
4月28日	要介護認定調査員新任研修	福島県	1名	オンライン研修
5月1日	県老施協第10回総会 及び施設長事務長研修	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ビッグパレットふくしま
5月21日	社会福祉施設等初任者基礎研 修	県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
5月24日	老人福祉施設研修Ⅰ	県社会福祉協議会	2名	オンライン研修
5月24日	高齢者介護施設等における感 染対策	県看護協会	1名	看護会館みらい
5月29日	介護施設等における防災リー ダー養成研修会	福島県	1名	オンライン研修
6月5日	会津地区老施協総会	会津地区老人 福祉施設協議会	1名	萬花楼
6月5日	医療的ケア教員講習会	介護労働安定センター	1名	郡山市労働福祉会館
6月5日	認知症介護基礎研修	認知症介護研究 ・研修センター	1名	オンライン研修
6月19～20日	中堅職員研修	福島県社会福祉協議会	1名	総合社会福祉センター
6月21日	災害・リスク対応研修会	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ユラックス熱海
6月25日	アンガーマネジメント研修	福島県老人福祉 施設協議会	2名	オンライン研修
7月2日	第4包括圏域勉強会	若松第4地域包括支援セ ンター	3名	北公民館
7月2日～ 8月23日	認知症介護実践者研修	福島県	1名	オンライン研修
7月10日	キャラバンメイト養成研修	福島県社会福祉協議会	1名	男女共生センター
7月11日	認知症ケア研修会	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ビッグパレットふくしま
7月12日	人材確保・定着セミナー	TMC	1名	オンライン研修
7月18～19日	中堅職員研修	福島県社会福祉協議会	1名	総合社会福祉センター
8月20日	病院勤務以外看護職員 認知症対応力向上研修	福島県看護協会	1名	看護会館みらい
8月23日 9月27日	介護事業所・介護職員向け PR力向上セミナー	福島県	1名	オンライン研修
9月10日	施設ケアマネ研修会	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ビッグパレットふくしま
9月11日	社会福祉施設看護等職員研修	福島県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
9月17日 10月23日	高齢者権利擁護推進員養成研 修	福島県	1名	オンライン研修 ユラックス熱海
9月19日～ 11月12日	認知症介護実践者研修	福島県	1名	オンライン研修
9月24日	災害時施設相互応援協定に 関する研修会	福島県老人福祉 施設協議会	1名	ビッグパレットふくしま

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
9 月 26 日	第 57 回自衛消防隊消火競技大会	会津若松消防本部	2 名	北会津公民館
9 月 27 日	成年後見制度支援者向け 研修会	会津権利擁護・成年後見 センター	2 名	オンライン研修
10 月 15・16 日	甲種防火管理新規講習	会津若松防火管理者会	1 名	アピオスペース
10 月 31 日 12 月 10 日	介護労働者雇用管理責任者講習	福島県	1 名	福島県青少年会館
11 月 9 日	福島県要介護認定調査員現任 研修会	福島県	1 名	オンライン研修
11 月 4～5 日	介護支援専門員更新研修再研修	福島県	1 名	オンライン研修
12 月 9 日	看護職員リフレッシュ研修	福島県看護協会	1 名	看護会館みらい
12 月 11 日～ 3 月 12 日	介護支援専門員実務研修	福島県	2 名	オンライン研修
12 月 19 日	会津地域医療安全研修会	会津保健所	1 名	オンライン研修
1 月 24 日	社会福祉法人役員等対象研修会	福島県	1 名	オンライン研修
1 月 30 日	多様な人材を確保するための セミナー・多様な働き方を導入する具体的な事例	福島県社会福祉協議会	1 名	オンライン研修
2 月 10 日	県老人福祉施設協議会会費改定説明会	福島県老人福祉 施設協議会	2 名	オンライン研修
2 月 26 日	中小企業求人力アップ実践セミナー	福島県	1 名	会津若松商工会議所

18 防災訓練等実施状況

① 防災訓練実施状況

訓練実施日	訓練内容	事業所	参加者
4月10日	消防設備、器具説明、消火訓練及び災害時の対応（新人職員対象）	老福合同	職員 13 名
5月8日	夜間想定火災初動訓練（特養発火）	老福各拠点	職員 22 名
6月14日	防災設備点検・自家発電設備自主点検	老福各拠点	設備班
6月23日	水害時持出し食材の確認	老福各拠点	炊出・備蓄班
7月10日	水害災害想定訓練（図上訓練）	老福合同	職員 24 名
7月10日	防災設備点検自主点検	特養拠点	設備班
8月21日	地震災害想定訓練（図上訓練）	老福合同	職員 22 名
9月10日	日中想定火災避難誘導訓練	南花畑DS	職員 8 名 利用者 30 名
9月11日	B C P 研修（事業継続計画読み合わせ） ※研修動画配信	老福合同	職員 134 名
9月11日	夜間想定総合訓練（短期発火）・自家発電設備訓練	老福合同	職員 120 名
10月9日	日中想定火災訓練（近隣施設連携訓練）	老福各拠点	ふくしの家2名 アガッセ5名 職員 56 名 利用者 72 名
10月11日	日中想定火災避難誘導訓練（南花畑DS）	南花畑DS	職員 8 名 利用者 31 名
11月8日	水害想定行動訓練・医薬品等持ち出し物品確認（救護班）	老福合同	職員 25 名
11月8日	防災設備点検自主点検	老福各拠点	設備班
11月27・29日 12月13・16日	厨房内自家発電操作確認（炊出班）	老福各拠点	炊出・備蓄班
12月11日	B C P 研修（合同地震図上訓練）	老福合同	職員 31 名
12月24・26日	厨房内自家発電操作方法確認（炊出班）	老福各拠点	炊出・備蓄班
1月8日	夜間想定火災行動訓練（新人職員対象） ※感染症対応により延期	老福合同	
1月22日	夜間想定災害想定抜き打ち通報訓練（短期発火） ※感染症対応により延期	老福合同	
2月12日	地震想定行動訓練（特養拠点・短期拠点）	老福合同	職員 32 名
3月4日	夜間想定火災行動訓練（新人職員対象） ※1月8日延期分	老福合同	職員 9 名
3月4日	夜間想定災害想定抜き打ち通報訓練（短期発火） ※1月22日延期分	老福各拠点	職員 90 名
3月12日	防災設備自主点検（特養拠点・南花畑DS）	老福各拠点	設備班
※8月25日	会津若松市総合防災訓練（福祉避難所開設・受入訓練）	—	職員 2 名

② 消防設備等点検状況

点検日	点検内容	事業所	点検実施者
4月30日	消防設備機器定期点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
5月9日	消防設備機器定期点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
4月19日	消防設備機器定期点検	あいづ南花畑デイサービスセンター	株式会社会津防災設備センター
10月25日	消防設備機器総合点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
11月6日	消防設備機器総合点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
10月18日	消防設備機器総合点検	あいづ南花畑デイサービスセンター	株式会社会津防災設備センター

19 職員の配置状況（特別養護老人ホーム会津みどりホーム）

(1) 職員の配置状況（令和7年3月31日現在）

職種	施設長	施設長補佐	事務員	生活相談員	介護員	看護員	機能訓練指導員	管理栄養士	栄養士	調理員	介護支援専門員	介護補助員	環境補助員	宿直員	合計
人数	1	1	4 (2)	2	32 [4] (12)	6 (1)	1	1	1	4 [2] (4)	[4]	(1)	(1)	(3)	53 (24)

() は臨時職員数 [] は兼務職員数

(2) 嘱託医の状況

診療科目	嘱託医師	診療回数
内科	佐藤 誠治	2～3回/月
内科	増戸 尚	2回/月
眼科	米山 高仁	2回/年
耳鼻科	穴澤 卯恭	2回/年
歯科	石田 高俊	1回/月

20 職員の福利厚生（高齢者事業所全体）

【職員定期健康診断】	延べ職員数	188名	(6/3、6/11、12/13、12/17、12/21、1/12実施)
【腰痛検査】	(5月)	98名	(10月) 112名
【インフルエンザ】	132名	(11月実施)	A型B型混合接種
【生活習慣病予防健診】	22名	(全国健康保険協会)	

21 地域交流

開催日	行事名	職員名	場所
6月14日	神指地区地域ケア会議・協議体	施設長：鈴木かおる	中央公民館神指分館
7月25日	元気はつらつ教室（講師派遣）	機能訓練指導員：遠藤広崇	五月町ふれあい会館
8月18日	中野竹子女史顕彰祭	施設長：鈴木かおる	中野竹子女史殉節地碑
8月23日	駅前あじさい会（講師派遣）	栄養調理係長：佐藤祐子	日本イエス・キリスト教団 待望教会
8月28日	元気はつらつ教室（講師派遣）	介護員：三瓶博	日新福祉会館
9月4日	神指小学校福祉出前講座	介護係：高橋智宏、甲斐伸、原祐樹 生活相談員：新井田咲子、菊地愛	会津若松市立神指小学校
9月13日	鶴沼コスモス会（講師派遣）	栄養調理係長：佐藤祐子	鶴沼公民館
9月17日	緑町ハッスル会（講師派遣）	機能訓練指導員：遠藤広崇	緑町町内会館
11月10日	神指地区文化祭	施設長：鈴木かおる 介護グループ長：林美和 介護支援専門員：池田由美	中央公民館神指分館
11月28日	城北地区地域ケア会議・協議体	施設長：鈴木かおる	城北コミセン
1月2日	東神指地区新年会	施設長：鈴木かおる	東神指集会所
1月22日	元気はつらつ教室（講師派遣）	栄養調理係長：佐藤祐子	日新福祉会館
3月21日	社会福祉法人会津療育会職員研修（講師派遣）	施設長補佐：菊地一幸 介護係長：高橋智宏	障がい者支援施設アガッセ
※10月20日	みどりフェスティバル	来場者：138名	会津みどりホーム

22 施設整備・備品の状況（令和6年度増加分）

資産の種類	名称	数量	金額（円）
その他固定資産	建物	一般浴室改修工事	1 式 32,197,770
	器具及び備品	フルリクライニング車いす	3 台 654,000
		低床ベッド	3 台 1,064,250
		ノートパソコン	1 台 165,000
		デスクトップパソコン	1 台 170,500
		インターネットルーター	1 台 161,700
		エアコン（和楽のまち）	1 式 768,900
		エアコン（太陽のまち）	1 式 1,320,000
		エアコン（厨房）	1 式 825,000
		入浴用リフト	1 台 3,388,985
		入浴介助用ベッド	1 台 462,000
		特殊浴槽	1 台 6,410,800
		見守りセンサー眠りスキャン	20 台 2,563,000
		パソコン作業台	4 台 418,000
		キッチンボード（虹・団らんのまち）	2 台 227,700
		合計	50,797,605

[2] 会津みどりホーム短期入所生活介護事業所

1 運営経過及び総括

今年度も在宅生活を支える事業所として、利用者の尊厳と自立支援を念頭に、利用者家族をはじめ関係機関との連携を図り、ニーズに沿った満足してもらえるサービスの提供に努めた。又、事故発生の回避、職員の心身の負担軽減を目的に見守りカメラを導入、導入後はリスク回避にもつながっている。

令和7年度の特養併設に向け、職員の人員配置や業務分担、収支面など細部まで詰め総合的に検討準備をすすめた。

上半期は好調な稼働率を保っていたが、下半期の感染症発生に伴い稼働率が低下し回復できなかった。

1日の利用者数 35.0人/40人	稼働率 87.9% (目標 96%)
-------------------	--------------------

2 重点目標の評価

1. サービスの質の向上

体調や状態変化の際には家族を含め関係機関への連絡報告など、タイムリーな情報共有に努めた。又、認知症の方への個別対応を継続し、ニーズの把握や対応など他職種間協同しチームとして関わった。

コロナ禍となり中止していたボランティアによる音楽体操教室を再開（毎月2回）した。更に、毎日の体操やレク活動などの検討実施、季節の行事関係や月1回の外出行事を実施し好評を得た。

2. 感染症対策

感染症については、定期的の実技を含め勉強会を開催し、全員が同じ対応を目指した。又、食事や体操、行事などについても引き続き感染対策を行いながら実施した。しかしながら、12月には新型コロナウイルス感染症が発生し7名が感染、1月にはインフルエンザの発生により感染者9名となってしまった。感染収束後には検証を行い、それまでの標準予防の内容を見直し、職員への周知と意識統一を図った。

3. 働きやすい職場環境

高齢事業所全体で毎月会議を開催し、職場環境や職員の働き方など問題を洗い出し検討してきた。又、職員間のコミュニケーションが円滑にいくよう、リーダー職員からの声掛けや会議などの場で意識し、情報共有の機会を作ってきた。今後も職員の定着や職員間の円滑なコミュニケーションの構築に向け、職場環境の整備を継続していく。

1月にシルエットカメラセンサーを20台導入し、転倒などの高リスク者へ活用することで、職員の負担軽減と、事故防止にもつなげることができた。

4. 特養併設（一体化）への準備

令和6年4月から、併設への先駆けとして調理を委託から自前に変更した。2年の準備期間では、調理員の配置や調理方法の変更など十分に検討できたため、混乱なく移行できた。又、令和7年度からの特養とショート完全一体化に向けては、人員配置や各係の執務室、実際の業務内容など細部までの打ち合わせを繰り返し準備した。

5. 地域での活動

令和6年度は11月26日に永和小学校を訪問し、認知症・高齢者についての講座を開催した。寸劇動画やクイズを交えての講義のなかでは、子供たちからの活発な質問もあった。後日、子供たちから手紙が届き、高齢者への理解や接し方についてのコメントなど、関心の高さがうかがえた。

3 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立支援
4	30	1,128	10	14	178	241	297	202	186	0
5	31	1,196	9	26	205	247	322	237	150	0
6	30	1,085	8	22	148	210	299	274	124	0
7	31	1,136	9	20	152	238	293	273	151	0
8	31	1,100	0	32	133	228	313	256	138	0
9	30	1,113	5	34	128	186	400	236	124	0
10	31	1,054	0	5	186	127	417	215	104	0
11	30	1,050	8	24	162	165	385	215	91	0
12	31	893	6	22	158	114	357	159	77	0
1	31	991	3	12	147	141	423	193	72	0
2	29	974	0	21	132	158	284	249	130	0
3	31	1,100	5	7	180	208	346	269	85	0
計	366	12,820	63	239	1,909	2,136	4,136	2,778	1,432	0
*一日平均 35人 平均要介護度 2.8 (令和5年度 2.9)										

4 新規受入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	20人	13人	9人	14人	15人	8人	12人	10人	10人	12人	11人	15人	149人

※令和5年度の新規受入れは108件

5 職員配置の状況

令和7年3月31日現在

職種	管理者	生活 相談員	介護員	看護員	機能訓練 指導員	事務員	栄養 調理員	運転手	環境補 助員	宿直員	合 計	[] 兼務 () パート
人数	[1]	1 [1]	15 [2] (6)	3	1	(1)	3	1	(3)	3	29 (10)	

6 月別行事実施状況

	行 事	月	行 事	月	行 事	月	行 事
4	お花見	7	七夕会	10	芋煮会	1	新年会 お正月行事
5	母の日	8	夏祭り	11	新そば祭り	2	節分
6	父の日	9	敬老会	12	中止(感染症による)	3	ひな祭り

○毎月1回(冬季間を除く)外出レクを企画実施した。

7 事故種別と件数

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落	1	6	2	2	3	3	4	1	2	1	1	2	28
骨折	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
尻もち	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
発赤	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
皮膚剥離	0	1	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	10
内出血斑	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
異食	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他(※)	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
合 計	3	8	4	8	7	6	6	1	2	2	5	3	55
ヒヤリハット(※)	1	2	2	4	0	1	1	3	0	1	0	1	16

※その他：入浴前の血糖チェックが抜けてしまった。トイレ内の手すりに頭部をぶつけた。

※ヒヤリハット：誤嚥しそうになった。歩行時転倒しそうになった。胃ろうチューブが抜けそうになっていたなど。

8 短期入所生活介護事業状況

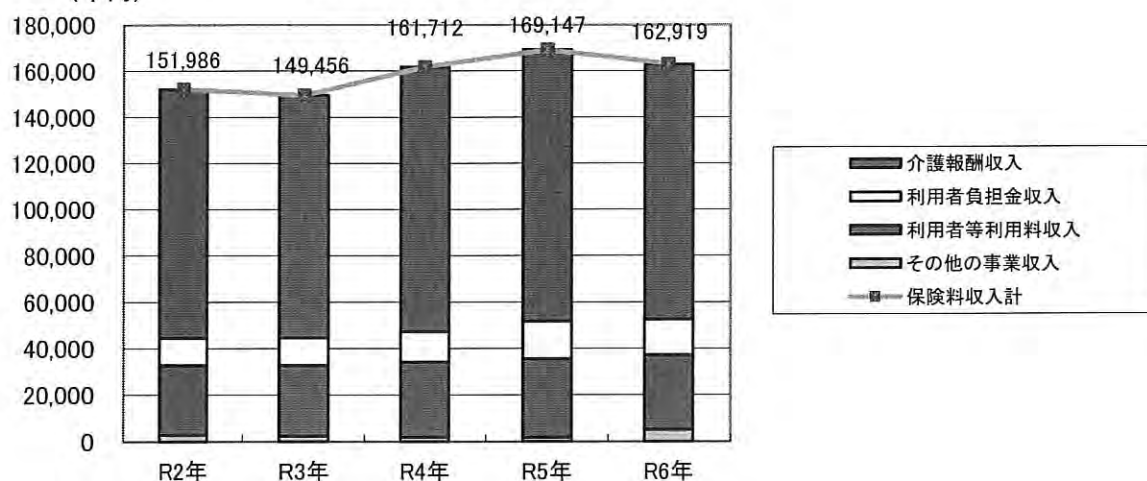
介護報酬の推移(短期)

(円)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	107,636,928	104,866,218	114,546,403	117,478,489	110,396,171
利用者負担金収入	11,550,381	11,795,869	12,975,980	16,079,237	15,285,431
利用者等利用料収入	30,099,405	30,475,204	32,361,304	33,937,730	32,187,895
その他の事業収入	2,699,770	2,318,466	1,828,357	1,651,355	5,049,822
保険料収入計	151,986,484	149,455,757	161,712,044	169,146,811	162,919,319

介護保険収入状況(短期入所)

(千円)

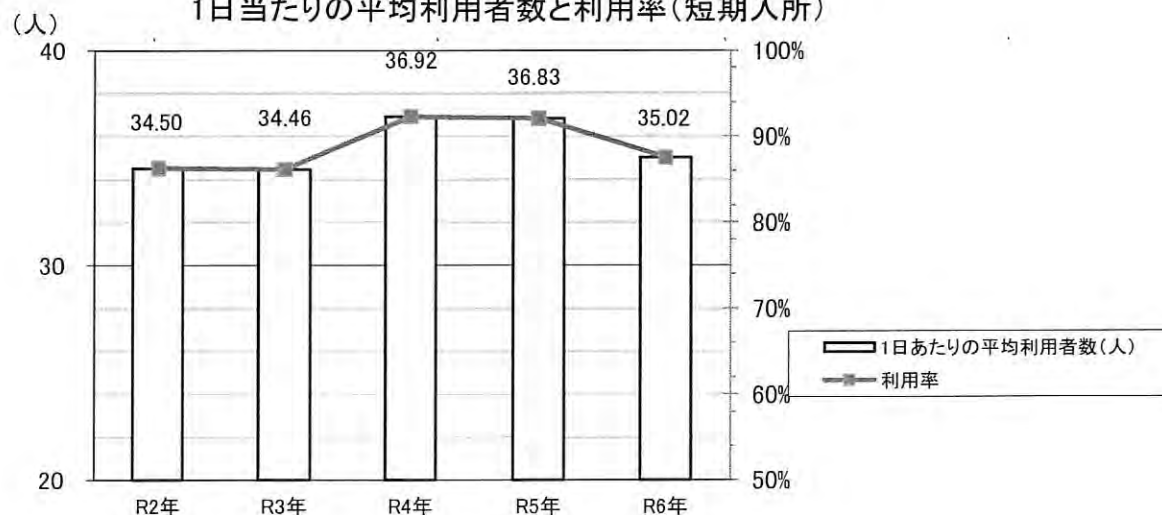


利用者数と利用率の推移

定員40名

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
年間利用延べ日数(日)	12,606	12,579	13,476	13,483	12,820
1日あたりの平均利用者数(人)	34.50	34.46	36.92	36.83	35.02
利用率	86.25%	86.16%	92.30%	92.09%	87.56%

1日当たりの平均利用者数と利用率(短期入所)



9 職員研修受講状況（内部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
5月1日 ～31日	手洗いについて（実践）	看護係	32名	医務室
5月2日 ～7日	感染症予防の基礎知識と新型コロナウイルス感染症マニュアル説明	看護係	22名	会議室
5月13日 ～28日	緊急時の対応に関する研修	看護係	28名	会議室
6月10日 ～28日	感染症の発生及びまん延の防止に関する研修（コロナ・ゾーニング）	看護係	16名	会議室
6月14日 ～20日	個人情報保護、倫理及び法令遵守について「苦情解決・個人情報保護・職員倫理」	特養総務係	20名	オンライン研修
7月8日 ～31日	褥瘡予防に関する研修	介護係	18名	会議室
8月8日 ～31日	褥瘡事例検討会	介護係	17名	会議室
9月18日 ～27日	高齢者虐待防止 ・身体拘束廃止	相談係	29名	会議室
10月1日 ～11月8日	感染症の発生及びまん延の防止に関する研修（インフルエンザ・ノロウイルス）	看護係	16名	会議室
11月25日 ～27日	高齢者虐待防止 ・身体拘束廃止	相談係	10名	会議室
11月18日 ～28日	リスクマネジメント 「危険予知トレーニング」	介護係	14名	会議室
2月7日 ～21日	介護力向上研修	介護係	9名	会議室
2月12日 ～28日	クレームにならないコミュニケーション	介護係	10名	会議室

10 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
5月29日	介護施設等における防災リーダー養成オンライン研修	福島県高齢福祉課	1名	オンライン研修
6月25日	アンガーマネジメント研修～福祉職員としていきいきと働き続けるために～	福島県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
7月2日	防災から身を守る～災害リスクや災害の備えについて～	会津若松市第4地域 包括支援センター	1名	会津若松北公民館
7月12日	人材確保・定着対策セミナー	福島県高齢福祉課	1名	アピオスペース
7月24日 ～25日	管理者のためのプリセプター運用研修	福島県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
8月28日	介護ロボット・ICT導入支援事業について	福島県高齢福祉課	1名	オンライン研修
9月24日	災害時施設相互応援協定に関する研修会	福島県老人福祉施設協議会	1名	ビックパレットふくしま

12月3日	第4包括圏域勉強会	会津若松市第4地域 包括支援センター	2名	会津若松北公民館
12月4日	社会福祉施設等における感染 対策対応力向上研修会	会津保健福祉事務所	3名	オンライン研修
12月1日 ～31日	安全対策研修会	福島県老人福祉施設 協議会	3名	オンライン研修
1月30日	多様な人材を確保するための セミナー～多様な働き方を導 入する具体的な事例～	福島県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
1月14日 ～17日	福島介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	1名	オンライン研修
3月25日	認知症介護基礎研修 eラーニ ング	社会福祉協議会 東北福祉会	1名	オンライン研修

[3] 会津みどりホームデイサービスセンター

1 運営経過及び総括

令和6年度は、各個人の生活環境の把握に努め、生活状況に合わせた小グループでの運動と個々に合わせた個別機能訓練を実施し、心身機能維持・向上や自立支援に取り組んだ。

季節行事やレク活動を通して楽しみながらの活動を行うことで意欲を引き出し、生活機能向上に繋げた。

一般浴室改修を行ない、介護度の高い利用者にも安全安心、リラックスしながらの入浴を提供し好評だった。

又、ご家族、ケアマネとの情報共有を密にし、利用者の個々に合わせた対応を行ない、信頼関係の構築に努めた。利用者の定着を図る為キャンセル理由をデータ化し検証を行い利用者の確保、新規獲得に努めた。

利用実績については、冬のコロナ感染と豪雪による利用者減少により稼働率 84.9%となった。年間の延べ利用者数は 8,046 人、1 日あたり 31.42 人となった。

通所緩和サービス事業では年間 841 人、1 日あたり平均 3.2 人の利用だった。

(緩和デイサービス 定員 10 名 目標 4 人/日 利用率 32%)

1 日利用者数 31.42 人/37 人 利用率 84.9% (目標 85.1%)

2 事業計画の評価

※重点事業「利用者本位の質の高いサービスの提供」

重点目標	実施状況（評価）
[1] 自立支援に向けた個別機能訓練の強化	① 日常生活動作、生活状況に合わせた上下肢運動を実施、又、個々に合わせた筋力訓練や小グループでの運動を行ない楽しみながらの運動を実施した。 ② たたみ物や、おやつ作り等の参加の働きかけを促し意欲の向上に繋げ、また、食事前の口腔体操を行ない嚥下、生活機能維持に努めることで、家庭でも役割を持ち自立した生活を送れるよう支援した。 ③ 機能訓練の内部研修会を行ない、身体状況に合わせた介助の仕方、補助具の適切な使用方法について学び、本人の身体状況に応じたケアに繋げていった。
[2] 個別ケアの充実と楽しみを持って頂くアクティビティ活動の提供	① 季節イベントやレク活動、園外活動を実施した。また、制作活動、趣味活動を実施し、楽しみ作りを支援した。 ② 利用者の身体状況に合わせた食事の提供や、イベント食、おやつ作りは好評だった。 ③ 一般浴室改修を行ない、リニューアルした浴室を提供し利用者の方からも好評をいただいている。
[3] 利用者・家族が安心して利用出来る信頼関係の構築	① 施設内の整理、整頓、消毒等感染対策に努めていたが1月末にコロナウイルス感染症が流行した。検証を行ない標準感染予防の見直しをし改善に取り組んだ。 ② 施設全体の防災訓練に参加し災害時に備えた。ご家族、ケアマネ、他事業所との情報共有を心がけ、連携を密にし、信頼関係構築の為、柔軟な対応に努めた。また、法人内のケアマネとの調整会議やケア会議を行ないサービスの質の向上に繋げた。 ③ 職員の個々のスキルアップ向上と、利用者の方へより良いサービスが提供できるよう内部研修の開催や外部研修に参加した。 ④ デイサービス内外の環境整備を行ない、カーテン設置、ベット等の入れ替え、送迎車の老朽化により2台入れ替えを行なった。

3 月別利用人数及び介護度

※ () 内は利用者数

月	日数	利用延数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	22	764 (112)	16 (4)	83 (21)	113 (16)	278 (36)	126 (13)	68 (12)	43 (6)	37 (4)
5	23	776 (108)	16 (4)	79 (19)	98 (14)	298 (37)	142 (15)	63 (10)	38 (5)	42 (4)
6	20	691 (108)	15 (4)	65 (18)	75 (13)	263 (37)	138 (17)	75 (13)	26 (5)	34 (4)
7	23	733 (102)	16 (4)	70 (17)	81 (11)	298 (36)	134 (16)	71 (10)	26 (4)	37 (4)
8	22	661 (103)	12 (4)	67 (17)	77 (11)	244 (34)	120 (15)	58 (10)	41 (6)	42 (6)
9	21	656 (105)	19 (5)	68 (20)	84 (13)	243 (32)	121 (14)	59 (12)	30 (4)	32 (5)
10	23	718 (106)	19 (5)	86 (20)	90 (12)	287 (38)	131 (14)	52 (10)	32 (5)	21 (2)
11	21	663 (107)	10 (4)	76 (21)	82 (13)	279 (39)	125 (15)	43 (10)	28 (3)	20 (2)
12	20	647 (107)	12 (4)	85 (23)	87 (13)	248 (36)	138 (17)	37 (9)	24 (3)	16 (2)
1	20	563 (102)	11 (4)	64 (20)	79 (14)	206 (34)	131 (17)	27 (7)	29 (4)	16 (2)
2	20	534 (97)	7 (2)	69 (20)	75 (12)	185 (32)	123 (17)	34 (8)	27 (4)	14 (2)
3	21	640 (105)	12 (4)	74 (20)	81 (13)	251 (37)	130 (17)	54 (9)	30 (4)	8 (1)
計	256	8,046	165 (2.05%)	886 (11.01%)	1,022 (12.7%)	3,080 (38.3%)	1,559 (19.4%)	641 (8%)	374 (4.6%)	319 (4%)
一日平均 31.42 (前年31.64) 平均要介護度 1.49 (前年1.71)										

4 月別行事実施状況

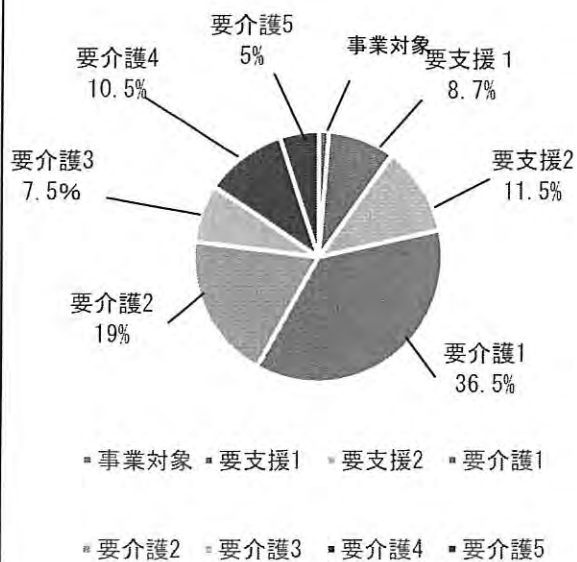
月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	桜祭り	○制作活動 ○マッサージ ○重ねてドン	10	紅葉狩り	○運動会 ○画伯ゲーム ○ハロウィンパーティ
5	母の日会	○鯉のぼりを飛ばせ ○中身あてゲーム ○ドキドキサイコロゲーム	11	新そば祭り	○ペーパー綱引き ○あっちへほい ○巻き巻きゲーム
6	父の日会 園外活動	○ふわふわゲーム ○ミラクルビンゴ	12	クリスマス会	○トナカイを追え ○輪投げ ○映画鑑賞
7	七夕会	○テーブルテニス ○パラソル輪投げ ○かき氷作り	1	初釜・書初め 新年会	○輪投げ ○新聞紙折りゲーム ○団子さし
8	盆祭り大会	○風船かご入れ ○ダーツで遊ぼう ○中身あてゲーム	2	節分(豆まき) 冬祭り	○手作りおやつ ○輪投げゲーム ○うちわで玉入れ
9	敬老会	○アヒルちゃんフリースロー ○色合わせ ○制作活動	3	ひな祭り会	○枯れ木に花を咲かせましょう ○カップスタックス ○タオルリレー

5 職員の配置状況

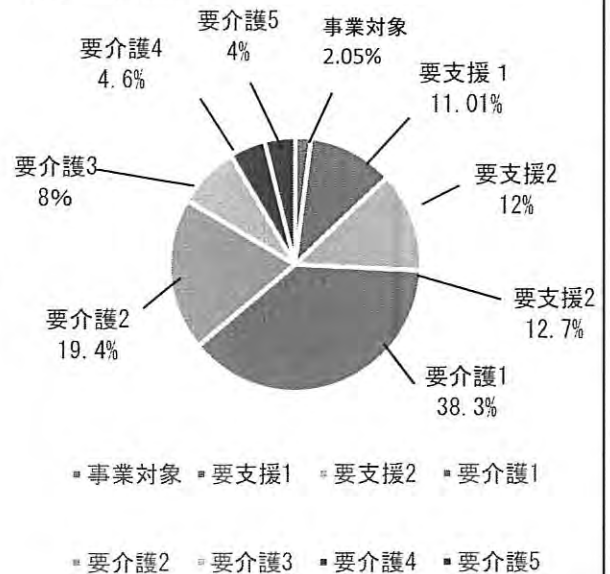
職種	管理者	生活相談員	介護員	看護職員	機能訓練	合計	() は兼務 【 】 はパート
人数	(1)	4 (4)	12 (6) 【2】	4 (4)	4 (4)	12名	

6 利用者要介護度別比較割合

(令和5年度)



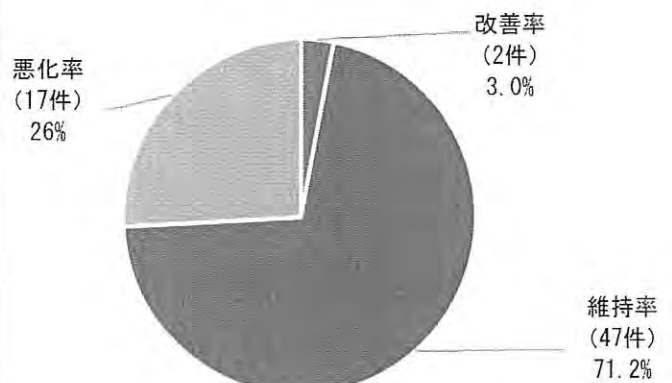
(令和6年度)



7 利用者要介護度変更状況 (66件)

要介護度変更率			
	R4年度	R5年度	R6年度
維持率	75%	76%	71%
改善率	2%	2%	3%
悪化率	23%	22%	26%

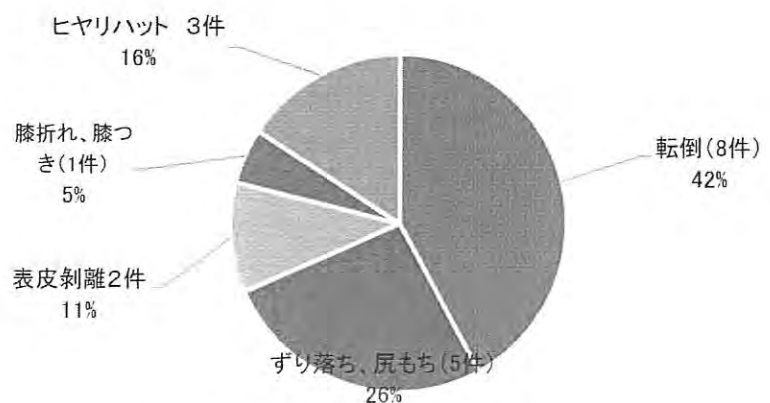
利用者介護度変更割合



8 事故種別 (19件)

事故種別	件数
転倒	8
ずり落ち、尻もち	5
表皮剥離	2
膝折れ、膝つき	1
ヒヤリハット	3
事故報告計	19

事故種別 (計19件)



9 事業実績の状況

介護保険収入状況

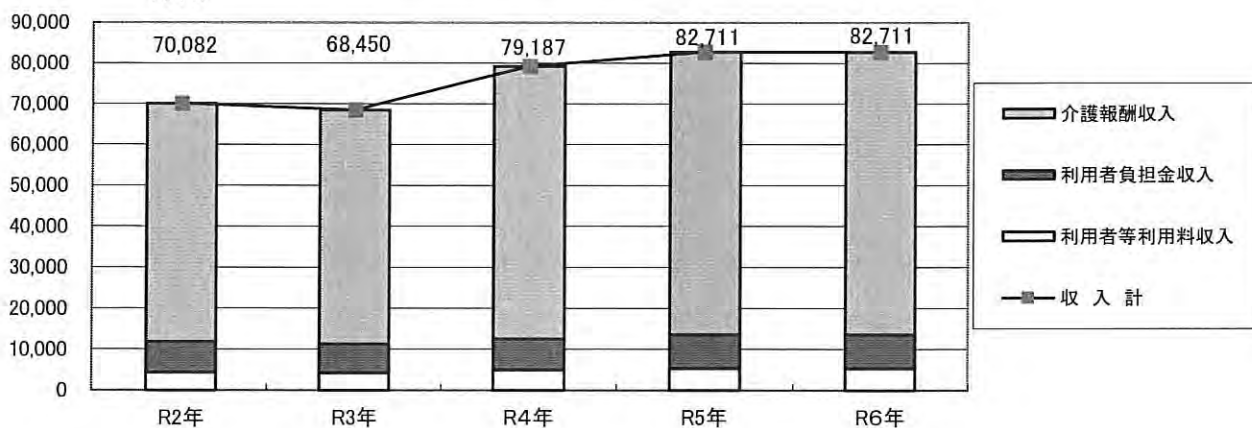
(円)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	58,229,834	57,207,902	66,641,947	69,145,993	69,145,993
利用者負担金収入	7,570,383	7,009,920	7,638,558	8,239,036	8,239,036
利用者等利用料収入	4,282,252	4,232,400	4,906,800	5,326,460	5,326,460
収入計	70,082,469	68,450,222	79,187,305	82,711,489	82,711,489

※令和5年9月より定員35名から37名へ

介護保険収入状況(みどりデイ)

(千円)



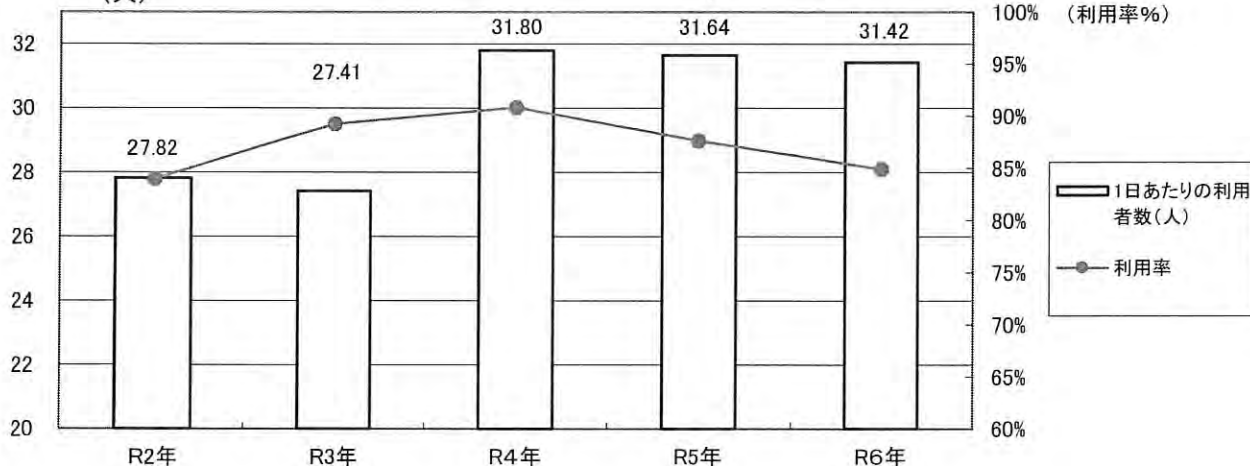
利用状況及び稼働日

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
利用延べ人数(人)	7,150	7,072	8,212	8,132	8,046
1日あたりの利用者数(人)	27.82	27.41	31.80	31.64	31.42
利用率	83.97%	89.20%	90.80%	87.60%	84.90%
稼働日数(日)	258	258	258	257	256

※令和5年9月より定員35名から37名へ

1日あたりの利用平均数と利用率(みどりデイ)

(人)

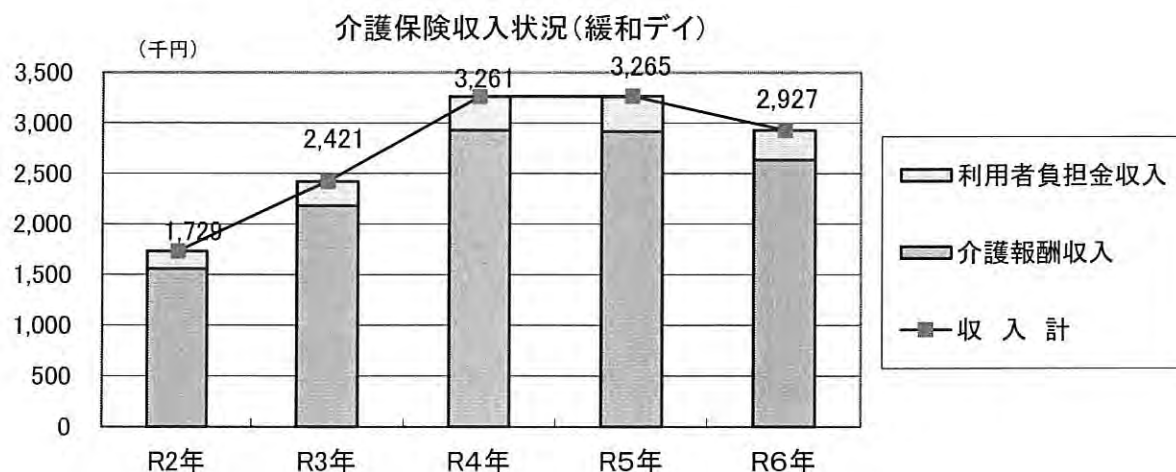


10 事業実績の状況(緩和デイ)

介護保険収入状況

(円)

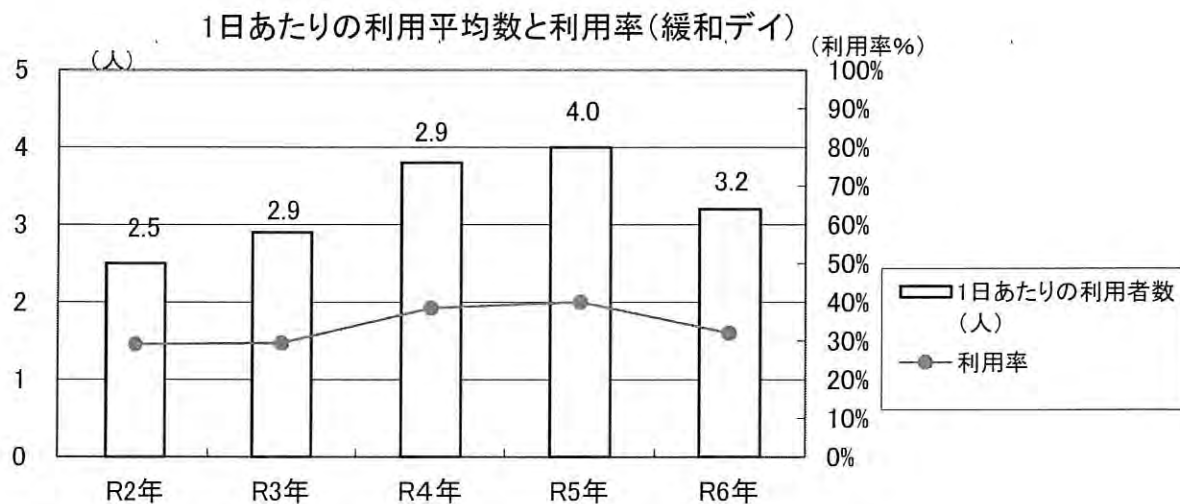
	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	1,556,811	2,181,762	2,927,516	2,915,046	2,633,850
利用者負担金収入	172,979	239,303	333,684	349,934	292,650
収入計	1,729,790	2,421,065	3,261,200	3,264,980	2,926,500



利用状況及び稼働日数

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
利用延べ人数(人)	561	759	993	1,028	841
1日あたりの利用者数(人)	2.5	2.9	3.8	4.0	3.2
利用率	29.1%	29.4%	38.4%	40.0%	32.0%
稼働日数(日)	258	258	258	257	256

令和2年10月から定員5名から10名へ



1 1 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
4 月 25 日	福島県老人福祉施設協議会総会 及び施設長研修	福島県社会福祉協議会	1 名	ビッグパレット ふくしま
6 月 25 日	アンガーマネジメント研修	福島県社会福祉協議会	1 名	オンライン研修
7 月 22～24 日	褥瘡拘縮予防・姿勢保持に役立つ 道具作り	福島県社会福祉協議会	1 名	オンライン研修
9 月 26 日	第 57 回自衛消防隊消火競技大会	会津若松地方市町村圏設備 組合消防本部	1 名	会津若松市 北会津公民館
10 月 18 日	竹田総合病院 介護福祉本部研 究発表会	一般財団法人 竹田健康財団	1 名	竹田ホール
11 月 26 日	生活相談員研修会	福島県社会福祉協議会	1 名	ビッグパレット ふくしま
12 月 3 日	第 4 包括圏内勉強会 災害における事業継続計画	若松第 4 包括支援センター	1 名	北公民館
12 月 12・17～20 日 23・24・26 日	デイサービスセンター研修会 入浴について	福島県社会福祉協議会	12 名	オンライン研修
12 月 5 日	安全運転管理者研修	福島県公安委員会	1 名	アピオスペース
1 月 21・23 日	安全対策研修会 安全対策担当 者研修	福島県社会福祉協議会	2 名	オンライン研修

1 2 職員研修受講状況（内部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
4 月 23 日	入浴介助研修	みどりホームデイサービス	10 名	デイルーム
5 月 25 日	デイサービス加算について	みどりホームデイサービス	9 名	デイルーム
6 月 25 日	感染症について コロナウイルス感染症、 ゾーニングについて	みどりホームデイサービス	9 名	デイルーム
7 月 23 日	介護事故について	みどりホームデイサービス	9 名	デイルーム
8 月 18 日	認知症の理解について	みどりホームデイサービス	9 名	デイルーム

9月24日	食中毒及び感染症の理解	みどりホームデイサービス	9名	デイルーム
10月22日	入浴介助研修②	みどりホームデイサービス	9名	デイルーム
11月26日	身体拘束、虐待防止研修	みどりホームデイサービス	10名	デイルーム
12月17日	接遇について	みどりホームデイサービス	10名	デイルーム
1月28日	感染症、PPEの実践	みどりホームデイサービス	9名	デイルーム
2月25日	認知症ケアの理解	みどりホームデイサービス	9名	デイルーム
3月25日	ハラスメントについて	みどりホームデイサービス	9名	デイルーム

(合同)

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
5月	コロナウイルス対応マニュアルの説明	感染プロジェクト	3名	会議室
6月	個人情報保護、倫理及び法令 順守について	総務	6名	会議室
9月	身体拘束廃止・高齢者虐待防 止に関する研修	生活相談	7名	会議室
11月	身体拘束廃止・高齢者虐待防 止に関する研修	安全対策	8名	会議室
11月	事故発生予防、その再発の防 止に関する研修	安全対策	8名	会議室
12月	看取りに関する研修	看護	2名	会議室
12月	感染症及び食中毒の発生予防 及びまん延の防止に関する研 修	栄養	2名	会議室
3月	事故発生予防、その再発の防 止に関する研修	安全対策	4名	会議室
3月	腰痛予防について	機能訓練	4名	会議室

[4] あいづ南花畑デイサービスセンター

1 運営経過及び総括

住み慣れた自宅での生活が安心して継続してできるよう利用者、ご家族、関係機関と密に連絡をとり信頼や安心感を感じてもらえるよう個別対応を行ってきた。さらに生活環境に応じて介護保険外サービスも行ってきた。また、自立した日常生活が送れるよう機能訓練の実施とレクリエーション活動や施設外活動の充実を図り満足度の向上に努めた。実績については年間延べ人数 7,872 人、前年度より 380 人の減となった。

1 日の利用者平均 30.71 人 稼働率 87.74% (目標 91.4%) 定員：35 名

2 事業計画の実施状況

重点目標	実施状況（評価）
[1] ご利用者・ご家族が安心して利用できる信頼関係の構築と楽しく安らげる場の提供をし生活の質の向上に努める	①体調の変化や生活上での課題をご家族、ケアマネジャーへタイムリーに報告、連絡、相談を行い情報を共有することで、安心感や信頼関係構築につながるよう努めてきた。 ②施設外活動の定期開催、制作活動、レクリエーション活動や季節行事を工夫し利用者の楽しみを増やし満足度の向上に努めてきた。 ③ヒヤリハットや事故の内容、感染対策を話し合い原因分析し再発防止に努めた。 ④利用者の生活の質の向上に資する改善点や課題の発見の都度、職員間で対応を細かく話し合い、利用者の情報を共有することで統一した適切なケアの提供を行ってきた。
[2] 利用者の自立支援と日常生活の充実が図れる個別ケアの提供と個別機能訓練の実施	①在宅生活が維持できるように、利用者の在宅環境なども情報収集し、自立した日常生活が送れるよう機能訓練を実施した。 ②利用者の状態を職員間で情報共有し、それぞれの認知症状への適切なケアを行い、症状の改善や安定を図り、利用者が落ち着いた生活が送れるよう支援した。 ③施設内外の研修に参加し、職員の知識・技術やサービスの質の向上に努めた。 ④体調不良時等でもできるだけ食事が摂れるように利用者の状態に合わせた食事形態を提供すると共に誤嚥を防ぐための食事前の口腔体操や姿勢の保持、食後の口腔衛生を実施してきた。
[3] 地域ニーズに即した事業の推進と安定的な利用者確保に努める	①利用者、家族のニーズに対応できるよう関係機関との連携をとり、個々の状況に合わせた支援を行うと共に日々の細やかなケアを実施した。 ②毎月の広報誌等を通じての情報提供や活動内容の PR を行った。また、見学者には丁寧な説明を行い、サービス利用へつながるよう努めた。

3 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	要支援1・事	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	22	675 (102)	134 (37)	124 (23)	203 (26)	103 (11)	60 (7)	30 (3)	21 (3)
5	23	746 (99)	152 (36)	115 (22)	229 (25)	122 (12)	59 (7)	41 (3)	28 (3)
6	20	643 (100)	136 (36)	109 (21)	175 (25)	94 (12)	54 (7)	40 (3)	35 (4)
7	23	738 (100)	145 (33)	136 (21)	184 (26)	112 (13)	67 (8)	54 (4)	40 (4)
8	22	658 (101)	126 (33)	119 (22)	173 (29)	105 (13)	52 (8)	52 (4)	31 (4)
9	21	673 (99)	114 (32)	116 (22)	196 (28)	101 (11)	42 (7)	67 (5)	37 (4)
10	23	724 (97)	133 (29)	120 (22)	204 (28)	99 (10)	58 (8)	77 (6)	33 (4)
11	21	666 (99)	116 (32)	117 (24)	165 (26)	122 (12)	51 (9)	62 (5)	33 (4)
12	20	606 (98)	126 (32)	97 (23)	151 (26)	110 (12)	39 (8)	54 (5)	29 (4)
1	20	582 (95)	113 (33)	109 (24)	124 (25)	118 (13)	51 (8)	43 (4)	24 (3)
2	20	548 (92)	100 (28)	94 (16)	140 (19)	113 (14)	42 (7)	34 (6)	25 (3)
3	21	613 (93)	104 (30)	106 (17)	172 (20)	108 (12)	60 (8)	35 (5)	28 (3)
計	256	※ 7, 872	1499 (19%)	1362 (17%)	2116 (27%)	1307 (16%)	635 (8%)	589 (8%)	364 (5%)
一日平均			30.71	(前年 32.11)	平均要介護 1.2 (前年 1.3)				

4 月別行事実施状況

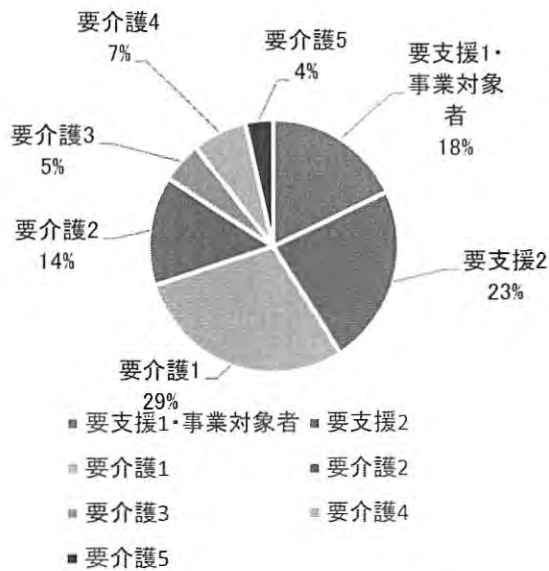
月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	お花見	○うなぎつかみゲーム ○ヤクルト積みゲーム ○後ろ向いて点とり	10	運動会	○テーブルカーリング ○ハロウィンゲーム ○秋の収穫祭ゲーム
5	母の日	○剣道メーンゲーム ○ペットボトルホッケー ○フリースローゲーム	11	買い物ツアー	○ビンゴゲーム ○色合わせゲーム ○紙皿ぐらぐらゲーム
6	父の日 あやめ見学	○日替わりゲーム ○ゲートボールゲーム ○ビンゴゲーム	12	クリスマス会	○たこ焼きゲーム ○ゲートボール ○映画鑑賞
7	七夕会	○虫取りゲーム ○手作りおやつ ○わなげ	1	新春茶話会 団子さし	○福笑い ○紅白歌合戦 ○ボーリング
8	夏祭り大会	○風船バレー ○魚釣りゲーム ○いろいろ玉入れゲーム	2	節分(豆まき)	○鬼退治ゲーム ○ハートを届けるゲーム ○ラッキー玉入れゲーム
9	敬老会	○カントリーゲーム ○団子三兄弟ゲーム ○手作りおやつ	3	ひな祭り	○花を咲かせましょうゲーム ○手作りおやつ ○ボトルクッパゲーム

5 職員配置の状況

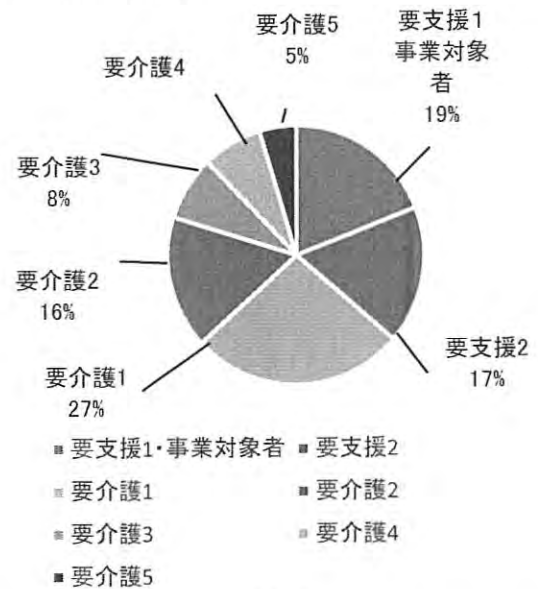
職種	管理者	生活相談員	介護職	看護職	機能訓練	合計	() 兼務
人数	(1)	3 (3)	10 (5)	3 (3)	2 (2)	10 名	

6 利用者要介護度別比較割合

(令和5年度)



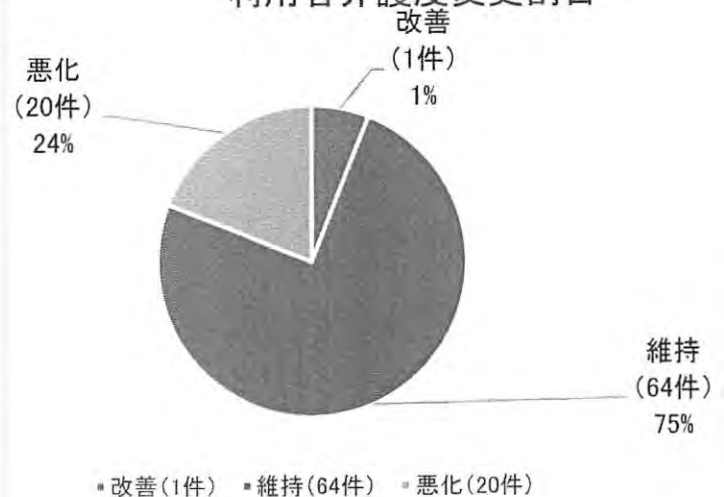
(令和6年度)



7 利用者要介護度変更状況 (65件)

要介護度変更率			
	R4年度	R5年度	R6年度
維持率	76%	75%	75%
改善率	8%	6%	1%
悪化率	18%	19%	24%

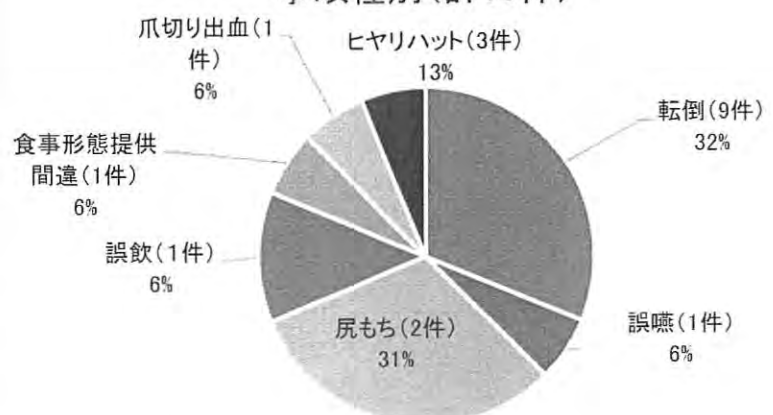
利用者介護度変更割合



8 事故種別

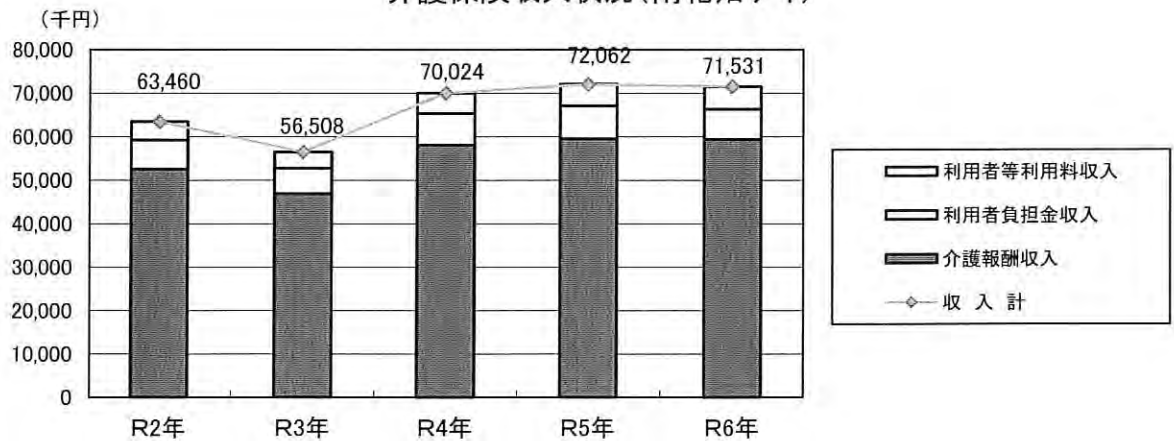
事故種別	件数
転倒	9
誤嚥	1
尻もち	2
爪切り出血	1
食事形態提供間違	1
誤飲	1
事故報告件数計	15
ヒヤリハット	3

事故種別(計15件)



9 事業実績の状況

介護保険収入状況(南花畑デイ)



(指定通所介護事業所)

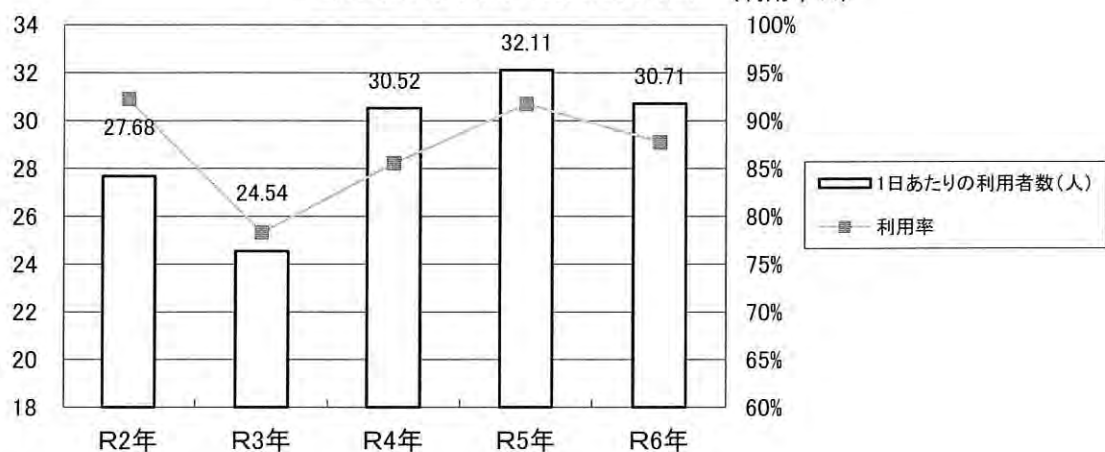
(円)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	52,596,025	46,916,717	58,076,990	59,539,907	59,377,999
利用者負担金収入	6,635,647	5,863,132	7,235,899	7,537,048	6,951,796
利用者等利用料収入	4,228,800	3,727,800	4,711,200	4,985,400	5,200,770
収入計	63,460,472	56,507,649	70,024,089	72,062,355	71,530,565

(人)

1日当たりの利用平均数と利用率

(利用率%)



(指定通所介護事業所)	定員30人	12/1~33人 2/17~36人	36人 12/1~35人	定員35人	定員35人
	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
利用延べ利用者数(人)	7,141	6,331	7,874	8,252	7,872
1日あたりの利用者数(人)	27.68	24.54	30.52	32.11	30.71
利用率	92.26%	78.30%	85.55%	91.74%	87.74%
稼働日数(日)	258	258	258	257	256

10 職員研修受講状況（内部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加人数	会場
4 月 18 日	・ 感染予防の基礎知識マニュアル説明 ・ 安全運転研修 横断歩道の一時停止	南花畑	6 名	南花畑デイ
5 月 16 日	・ 事故発生時、緊急時の対応について 「心肺蘇生法と窒息時の対応」 ・ 安全運転研修 横断歩道の一時停止	〃	7 名	南花畑デイ
6 月 14～20 日	・ 個人情報保護、苦情解決制度 ・ 職員倫理について	特養総務	9 名	オンライン研修
6 月 20 日	・ 安全運転研修 梅雨時の事故防止	南花畑	9 名	南花畑デイ
7 月 18 日	・ 褥瘡予防 ・ 排泄マニュアル ・ 安全運転研修 子供の事故防止	〃	7 名	南花畑デイ
8 月 15 日	・ 入浴介助研修 ・ 安全運転研修 健康起因の事故防止	〃	8 名	南花畑デイ
9 月 19 日	・ 高齢者虐待防止、身体拘束の廃止について ・ 安全運転研修 高齢者の事故防止	〃	8 名	南花畑デイ
10 月 17 日	・ 感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防止 ・ 安全運転研修 夜間時の事故防止	〃	9 名	南花畑デイ
11 月 21 日	・ 事故発生予防、再発防止 ・ 安全運転研修 交差点での事故防止	〃	6 名	南花畑デイ
12 月 16～23 日	・ 感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防	特養栄養	9 名	オンライン研修
12 月 19 日	・ コロナウイルス感染症訓練（PPE 着脱） ・ 安全運転研修 飲酒運転の根絶	南花畑	8 名	南花畑デイ
1 月 16 日	・ コロナウイルス感染症（シュミレーション訓練） ・ 安全運転研修 シートベルト着用	〃	6 名	南花畑デイ
2 月 20 日	・ リスクマネジメントについて ・ 安全運転研修 冬道での事故防止	〃	6 名	南花畑デイ
3 月 6～17 日	・ 腰痛予防について	特養機能訓練	7 名	オンライン研修
3 月 20 日	・ 安全運転研修 事故時の対応	南花畑	6 名	南花畑デイ

11 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加人数	会場
4 月 25 日	福島県老人福祉施設協議会総会及び施設長研修	県老人福祉施設協議会	1 名	ビッグハレットふくしま
10 月 29 日	認知症ケア多職種連携推進研修	会津若松市高齢福祉課	1 名	会津稽古堂
11 月 22 日	認知症ケア多職種連携推進研修	会津若松市高齢福祉課	1 名	オンライン研修
11 月 26 日	生活相談員研修	県老人福祉施設協議会	1 名	ビッグハレットふくしま
12 月 1～27 日	デイサービス研修（入浴介助）	県老人福祉施設協議会	10 名	オンライン研修
12 月 5 日	安全運転管理者研修	福島県公安委員会	1 名	会津アピオスペース
1 月 16 日	安全対策研修	県老人福祉施設協議会	1 名	オンライン研修
1 月 20 日	安全対策研修	県老人福祉施設協議会	1 名	オンライン研修
2 月 21 日	高齢者虐待研修	県老人福祉施設協議会	1 名	オンライン研修

[5] 居宅介護支援事業所会津みどりホーム

[1] 運営経過及び総括

介護支援専門員の質の向上では、新たに2名が主任介護支援専門員資格を取得し、経験を積んだ職員が、専門性の高い支援を提供できる体制を整え、介護支援専門員実務者研修での指導にも繋げることが出来た。また、ICTを活用することで、帳票の見直し、移動時間利用しての記録業務等、業務改善を図ることが出来た。

当初予定では入職者1名増を見込んでの目標件数だったが、年度内の入職者はいなかった為目標達成には至らなかった。しかし、1人あたりの担当件数は36件で推移しており、安定した収入を確保することが出来た。
令和6年度実績2,628件 達成率は91.25% 目標件数 2,880件(240件/月)

[2] 事業計画の実施状況

重点目標	事業計画(取り組むべき施策)	実施状況(評価)
1. 個人の尊厳の保持と自立支援に資する適正なサービス提供	①一人ひとりの生活に対する価値観を大切にし、自己決定や自己選択を支援し出来る限り利用者が自ら選択した場所で望む生活ができるように支援をしていきます。 ②困難事例や独居・認知症の利用者等の支援を地域包括支援センターと共に行い、地域ケア会議や他事業所と連携を図り、情報共有、問題解決に努めます。	・利用者や家族の意向を尊重し住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、サービス計画を作成し利用者に寄り添った支援を行った。 ・虐待や家族支援が必要等困難事例を多く抱えたが、行政や障害支援関係機関、地域包括支援センターと迅速な連携を図り、情報を共有し、それぞれの役割を確認することで、利用者の尊厳保持に繋がる支援が出来た。
2. 医療と介護の連携推進	①入退院時には病院等へのタイムリーな情報提供や情報収集を行い、円滑に在宅復帰できるように支援していきます。 ②高齢者の病状を理解し早期の対応ができるように、日頃から内外部の研修に参加し知識を高めていきます。	・入退院時に医療機関と情報共有を行い、退院前の状態把握もICTを活用する等して、スムーズな在宅復帰に繋がるよう支援した。 ・製薬会社による軽度認知障害疾患についての研修会にも参加し、知識を高める機会を持つことが出来た。
3. 多様化する業務内容を見直し業務改善を図る	①多様なニーズに応じた様々なサービスが提供できるよう、ICT活用や事務業務の簡素化など、業務内容を見直しすることで、生産性の向上や職場環境の整備を目指していきます。	・パソコンソフトのツールを再確認し、重複作業となっていた基本情報の帳票の見直しを行った。今後もヒアリングを継続していく。 ・ノートパソコン導入で、訪問の移動時間を活用し、記録業務に充てる事が出来た。
4. 介護支援専門員の人材確保への取り組み	①広報誌等にて、介護支援専門員の体験談を掲載することで、業務内容や仕事のやりがいを知り、居宅介護支援専門員を目指すきっかけ作りを行います。 ②法人内での介護支援専門員受験に向けての勉強会を通して、業務への関心に繋げていきます。	・介護支援専門員のやりがい体験を広報誌に掲載し、資格取得意欲に繋がる取り組みに努めた。 ・法人主催の介護支援専門員受験に向けての勉強会で、業務への関心に繋がる発信にもなった。(合格者3名)
5. 介護支援専門員の資質向上の取り組み	①専門性を高める為、各種の内外部研修会に積極的に参加するとともに就業年数にあわせて介護支援専門員法定研修に参加。居宅間連絡会によるオンライン研修やZoomを使用する事例検討会に参加し自身のスキルアップを図ります。 ②主任介護支援専門員は、介護支援専門員の支援や研修のファシリテーターなどの役割を担う。また、介護支援専門員実務研修等の実習受け入れを継続し、後進の指導とともに人材育成に努めます。	・発達障害やヤングケアラー支援等、各種内外の研修会へ積極的に参加。又、主任介護支援専門員研修で2名が資格取得。利用者を取り巻く課題に対応できるよう、知識・技術の向上、個々の介護支援専門員としてのスキルアップに努めた。 ・週1回事業所内ケース検討会、居宅間連絡会での事例検討会へ参加。情報を共有し、問題解決に向けて話し合う事で、介護支援専門員の資質向上へと繋がった。 ・主任介護支援専門員の役割でもある法定研修ファシリテーター協力、実務者研修で指導を担い介護支援専門員育成に努めた。

3 職員配置の状況

管理者・主任介護支援専門員	専任	1名
主任介護支援専門員	専任	4名
介護支援専門員	専任	1名

4 ケアプラン作成件数

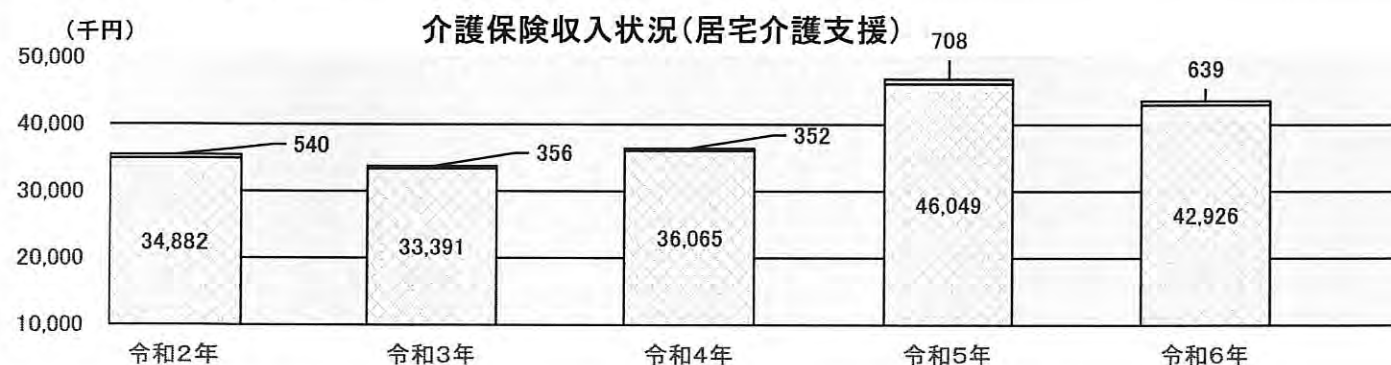
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年	166	168	171	175	180	188	195	194	188	199	208	220	2,252
令和5年	226	226	232	245	242	241	247	249	242	236	232	228	2,846
令和6年	229	229	230	220	215	210	217	215	216	209	219	219	2,628

5 訪問調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年	7	12	12	10	7	9	10	5	0	6	6	15	99
令和5年	11	11	9	14	9	19	20	20	21	21	20	20	195
令和6年	19	11	17	19	12	18	11	9	19	17	11	19	182

訪問調査受託については、新規獲得優先としたため、依頼件数を18件に抑えていた。次年度は職員数も増える為、20件受けていく予定。

6 事業実績の収入状況



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	前年度対比
介護報酬収入	34,882,020	33,390,790	36,064,600	46,049,470	42,925,660	93%
調査受託料収入	540,010	356,110	352,110	707,850	639,250	90%

7 年間利用者数延べ人数と職員一人あたりの利用者数推移

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
利用のべ人数	2,221	2,105	2,252	2,846	2,628
職員1人当たりの利用者数(月)	31	31	26	33	36
介護支援専門員	6	5	7	7	6

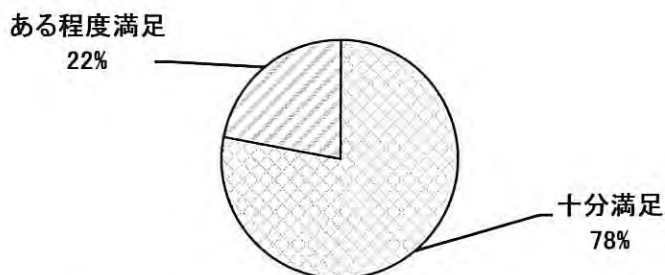
8 利用者の要介護度別利用者数の推移 (3月調べ)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和4年	77人	67人	29人	32人	11人	216人
令和5年	94人	54人	39人	37人	13人	237人
令和6年	98人	55人	30人	26人	10人	219人

9 居宅介護支援サービス利用者満足度調査

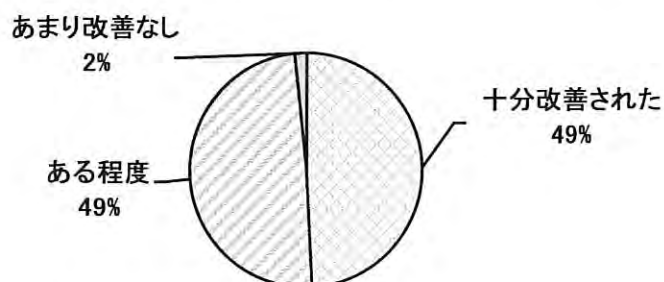
R6年7月調査・利用者数224名中112名に実施・有効回答68名(回収率60.7%)

・ケアマネジャーの態度や言葉遣いなどに満足していますか？



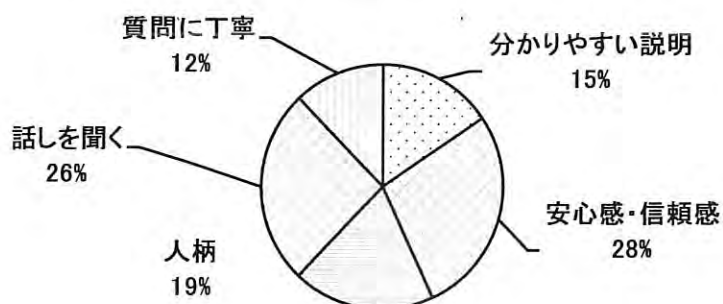
項目	回答数	%
十分満足	53人	67.95%
ある程度満足	15人	19.23%
やや不満	0人	0.00%

・介護保険サービスを利用してあなたの心身の状態や生活環境などは改善されましたか？



項目	回答数	%
十分改善された	30人	38.46%
ある程度改善された	30人	38.46%
あまり改善なし	1人	1.28%

・ケアマネジャーを選ぶ上で重要なことは？(3つまで)



項目	回答数	%
分かりやすい説明	18人	11.32%
安心感・信頼感	32人	20.13%
人柄が良い	22人	13.84%
話しを聞く	30人	18.87%
質問に丁寧な説明	14人	8.81%

10 職員研修受講状況（内部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加人数	会場
4月2・3日	感染予防（手洗いついて）	看護係	6名	短期事業所
4月15日	サービスマナー（スピーチロック）	サービスマナー委員会	6名	オンライン研修
5月1日	新型コロナ感染マニュアルについて	看護係	6名	短期会議室
6月14・18日	老人福祉施設職員（職員倫理・苦情解決制度・個人情報保護）	総務係	6名	オンライン研修
6月27日	人材育成中堅職員研修	中長期委員会人材育成	1名	短期会議室
9月25日	高齢者虐待防止勉強会	包括・居宅虐待防止委員会	14名	短期会議室
10月1日	感染症及び食中毒の発生及びまん延の防止に関する研修	栄養調理係	4名	短期会議室
11月18日	サービスマナー（相手の心に届く言葉遣い）	サービスマナー委員会	6名	オンライン研修
11月27日	高齢者虐待防止勉強会	包括・居宅虐待防止委員会	6名	短期会議室
1月14日	人材育成リーダー研修	中長期委員会人材育成	2名	短期会議室
2月10日	サービスマナー（クレーム）	サービスマナー委員会	3名	オンライン研修
2月14日	ハラスメント防止研修	法人	3名	オンライン研修
3月6日	腰痛予防について	機能訓練係	6名	オンライン研修

11 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加人数	会場
4月24日	全会津介護支援専門員協会総総会・記念講演会	全会津介護支援専門員協会	6名	アピオスペース・展示ホール
5月14日	会津若松市介護報酬改定Q&A・高齢者福祉サービス等説明会	会津若松市高齢福祉課	1名	會津稽古堂多目的ホール
5月29日	第1回難病患者地域サポート勉強会	福島県会津保健福祉事務所	2名	オンライン研修
6月14日	神指地区 地域ケア会議・協議体	第4地域包括支援センター	1名	中央公民館神指分館（和室）
6月27日	社会福祉法人博愛会 中堅職員研修	社会福祉法人博愛会	1名	会津みどりホーム 介護者教育室
7月2日	会津若松市若松第4包括圏域 勉強会	第4地域包括支援センター	6名	北公民館 1階会議室
7月3日	自立支援型地域ケア会議基礎研修 プログラム	福島県	2名	オンライン研修
7月30日	年度苦情受付担当者研修	県運営適正化委員会	1名	ビッグパレットふくしま
8月19日	全会津介護支援専門員協会第1回研修会	全会津介護支援専門員協会	6名	会津アピオスペース 展示ホール
8月22日	第2回 居宅間連絡会 運営協議会	居宅間連絡会	1名	オンライン研修

8月26～28日	介護支援専門員専門研修Ⅰ	福島県介護支援専門員協会	1名	オンライン研修
8月27日	第2回福島県介護生産性向上セミナー	福島県高齢福祉課	1名	オンライン研修
8月29日	神指地区地域ケア会議・協議体	第4地域包括支援センター	1名	中央公民館神指分館(日本間)
8月29日	第1回会津・南会津圏域精神障がい者 地域移行圏域ネットワーク強化研修	福島県会津・南会津保健福祉事務所	1名	オンライン研修
9月11日～12、20～22日	主任介護支援専門員研修	福島県介護支援専門員協会	1名	ビッグパレットふくしま
9月13日～14、29～10月1日	主任介護支援専門員研修	福島県介護支援専門員協会	1名	ビッグパレットふくしま
9月19日	居宅間連絡会 上半期研修会	居宅間連絡会	3名	医師会館講堂
10月18日	会津若松市要介護認定現任調査員研修会	会津若松市高齢福祉課	4名	オンライン研修
10月31日	安全運転管理者等講習	福島県安全運転管理者等講習	1名	会津アピオスペース展示ホール
11月25日	全会津介護支援専門員協会第2回研修会	全会津介護支援専門員協会	5名	会津アピオスペース展示ホール
12月3日	会津若松市若松第4包括圏域勉強会	第4地域包括支援センター	3名	北公民館 1階会議室
2月19日	適切なケアマネジメント手法を知ろう	全会津介護支援専門員協会	6名	会津アピオスペース展示ホール
2月20日	第4回 居宅間連絡会	居宅間連絡会	1名	オンライン研修

〔6〕 会津若松市若松第4地域包括支援センター

① 事業の総括

4 地区の高齢者の総合相談の窓口として支援活動を行うと共に、地区の担当者との顔の見える関係づくりに務めた。また、新規相談依頼には迅速な対応を心掛けた。

令和6年度、全市一斉に始まった一体的事業（高齢者フレイル教室・フレイルチェック）を市と協力し実施。フレイルチェックは、高齢者が立ち寄る地域の店舗を利用して立ち寄った方に、健康度の測定や保健指導・相談を実施し、多数参加していただき自身の身体について関心を持っていた。多問題家族などについては、他分野の支援者と必要な機関を交えて会議に参加し対応にあたった。年間の総合相談の延べ件数は、18,835件となっている。予防件数合計は4,797件の作成となり目標達成となった。

② 重点事業

1. 包括支援事業の推進

対面でのBCPの勉強会などは居宅支援事業所だけではなく、圏域の介護サービス事業所も参加し、有意義な情報交換の場となった。また、法人内部の在宅部門（短期・デイ）とは情報交換会に参加し意見交換を続け、法人内居宅とは困難事例に対する事例検討会を行った。

2. 地域の各種団体との連携の強化

4 地区において地域ケア会議を開催した。また激甚化する災害対策のため、地区の情勢に合わせた水害の防災ミニケア会議を開催することができた。町北地区の中ノ明においては自主防災組織作りに市と支援を行った。防災関連については、市の危機管理課と協力し地域の防災力の向上を図ることができた。介護予防と集いの場の支援（サロン・いきいき百歳体操・フレイル予防）を行った。また、城北地区では、出前講座が可能な事業所一覧のチラシを作成し、地区内関係者に配布した。

3. 地区内の高齢者の見守り体制の強化

日新地区民生委員と地区の実態把握を実施。包括作成の「元気はつらつ便り」を活用し新規の郵便局や金融機関と連携を図ることで、相談依頼なども増え、必要な機関に繋ぐなど体制が強化され、心配のある高齢者の把握や情報共有を行うことができた。

4. 認知症高齢者への対応と関係機関との連携

一般公募型認知症サポーター養成講座は城北地区（威徳院）・永和地区（北公民館）の2地区で実施し、小学校での認知症サポーター養成講座は、日新・神指・永和でメイトの協力のもと実施できた。小学生が認知症について学ぶ機会となり、身近にいる認知症の方に優しく接する大切さを学んでいた。地域のサロン会などでも認知症の出前講座を実施し、早期発見・早期治療の必要性や意識づけを行っている。圏域内の医院・薬局との情報共有会は対面で行い、認知症の心配な患者さんの情報共有の場となり、その後の実態把握と相談に繋げることができた。認知症に限らず医師や看護師と顔の見える関係作りは、その他の疾病でも迅速な対応につながっている。

5. 介護予防事業の充実

全市一斉に始まった一体的事業（高齢者フレイル教室・フレイルチェック）を市と協力し実施。フレイルチェックとして、高齢者が立ち寄る地域の店舗等を利用して立ち寄った方に、健康度の測定や保健指導・相談を実施したことで多くの方に、自身の身体について関心を持っていた。介護予防教室についても感染対策を行いながら、法人内講師の協力を得て開催を続けた。いきいき百歳体操の団体支援も継続的に行い、新たな地区での立ち上げ支援を行ったが、立ち上げには至らなかった。

6. 重層的支援体制の整備

家庭内に複数の問題を抱えているケースについては、他分野の支援者と市、必要な機関を交えての個別ケア会議を開催し、支援状況の共有と今後の支援の方向性を話し合ってきた。

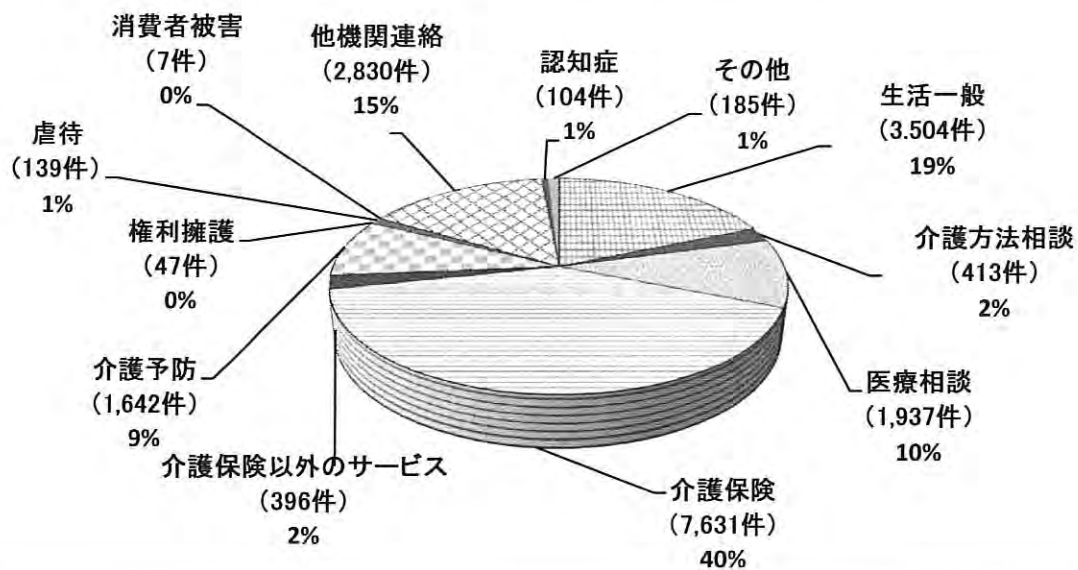
7. 高齢者の常時非常時の安全の確保

引き続き感染対策を継続し対応にあたった。また、災害時の対応など市からの依頼に基づき個別避難計画の作成を行い、災害時の対応など確認することができた。また、法人内での各種防災訓練では、有事の対応について（行動訓練・図上訓練）参加し意見交換など行った。

3 総合相談件数と内容

・相談延人数 12,882人
・相談実人員 977人

総合相談内容 ～18,835件～



4 介護支援専門員等勉強会

	開催日	開催方法	内 容	参加者
1	7月2日	北公民館	「災害から身を守る～災害リスクや災害の備えについて」「災害対応カードゲーム」	36名
2	9月2日	みどりSS会議室	見える事例検討会	13名
3	12月3日	北公民館	「居宅サービス事業所の特色・アピールポイントを教えて!」「情報交換会」	28名

5 共生福祉相談員定例会

	開催日	内 容
1	5月14日	活動に関する情報交換
2	8月6日	活動に関する情報交換
3	11月12日	活動に関する情報交換
4	2月4日	活動に関する情報交換

6 地域ケア会議

	開催日	開催地区	内 容
1	5月7日	町北地区	ミニケア会議、地域防災協議会の話、ネットワーク作り
2	5月29日	日新地区	介護保険事業計画説明、災害の地域課題に対する取り組み
3	6月14日	神指地区	高齢者福祉計画・第9期介護保険計画、地域福祉推進アンケート結果・現状
4	7月18日	城北地区	高齢者福祉計画・第9期介護保険計画、地域福祉推進アンケート結果・現状
5	7月22日	日新地区	防災ワークショップ、防災講座と地域の課題共有、避難支援マップ作成
6	7月29日	永和地区	災害の地域課題に対する取り組み
7	8月29日	神指地区	災害の地域課題に対する取り組み
8	11月14日	日新地区	防災ワークショップ、防災講座と地域の課題共有、避難支援マップ作成
9	11月28日	城北地区	高齢者自身の地域課題に対する取り組み、介護予防出前講座の周知
10	12月16日	永和地区	高齢者自身の地域課題に対する取り組み、地域福祉推進アンケート結果
11	12月26日	日新地区	防災ミニケア会議報告、防災意識の向上、地域福祉推進アンケート結果
12	1月25日	神指地区	地域防災計画改定に向けた住民ワークショップ
13	2月21日	城北地区	地域防災計画改定に向けた住民ワークショップ
14	3月6日	日新地区	防災ワークショップ、避難支援マップの作成

7 認知症サポーター講座

	日 時	場 所	参加者	内 容	参加人数
1	9月4日	神指小	五十嵐春、菊地	認知症について講義、認知症高齢者への対応、寸劇	10名
2	9月19日	北公民館	五十嵐春、渡部、嶋田	〃	4名
3	9月27日	威徳院	五十嵐春、星、秋山、大内	〃	12名
4	11月26日	永和小	五十嵐春、古川	〃	21名
5	11月29日	日新小	五十嵐春、渡部、長谷川、佐藤	〃	57名

8 家族介護者交流会

	日 時	場 所	内 容	参加人数
1	7月4日	ツルハ七日町	「スキンケアとお化粧の仕方を学びましょう。男性也大歓迎!!」	5名
2	8月23日	café KIE1-KI	「日々の介護にまつわる話をしながら茶話会で癒されましょう」	4名
3	10月1日	北公民館	『疲れを癒しましょう』～セルフケアマッサージ～	10名

9 サロン活動支援

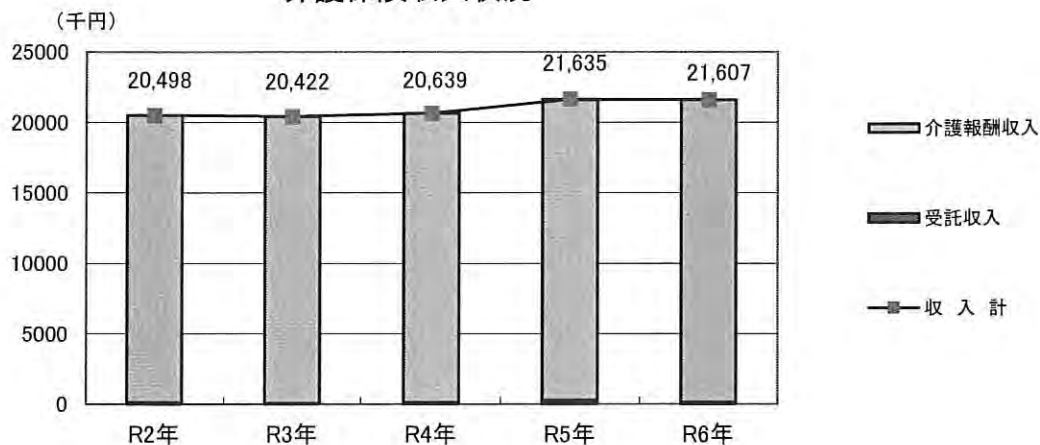
団 体 名	内 容	回 数
金川町いきいき百歳体操	いきいき百歳体操指導	1
界沢サロンひまわり	フレイル予防の話、軽体操	1
いきいきサロン金川町	挨拶、情報発信、脳トレ支援	1
サロン寺小屋	フレイル予防教室	1
緑町ハッスル会	フレイル予防の話、健康体操	1
ひまわりサロン会	軽体操、スカットボール	1
日新町婦人会	認知症予防出前講座、脳トレ	1
鶴沼コスモス会	熱中症の話、軽体操	1
吉田いきいきサロン	認知症予防講座	1
中地長寿会	いきいき百歳体操体験	1
はつらつクラブ	軽体操、Wiiボーリング	1
緑町ハッスル会	介護予防の出前講座(ツクイ・サンシャイン)	1
吹楽会	Wiiボーリング	1
上高野サロン	軽体操、スカットボール	1
金川町生き生きサロン	挨拶、チラシ関係説明、交流会	1
脳トレクラブ	介護保険の話	1
サロン寺小屋	フレイル予防教室・支援	1
鶴沼コスモス会	フレイル予防の栄養の話、軽体操	1
緑町ハッスル会	介護予防体操	1
町北高齢者学級	フレイル予防と体力測定	1
ミニディさざんか	軽体操、サイコロゲーム、スカットボール	1
金川町サロン	あいさつ、認知症講座支援	1
鶴沼コスモス会	フレイルチェック、オーラルフレイル	1
はつらつクラブ	体操、スカットボール	1
サロン寺小屋	体操	1
横沼サロン	体操、ボッチャ	1
ひまわり会	体操、ボッチャ	1
上神指サロン	体操、マットス	1
金川町サロン	フレイル予防の話、軽体操、脳トレ	1
吹楽会	Wiiボーリング、軽体操	1
元気はつらつ教室	体操	1
上神指サロン	体操、スカットボール	1
横沼サロン	体操、ジェンガ	1
上神指サロン	体操、ジェンガ	1
上高野サロン	体操、スカットボール	1
サロン寺小屋	体操、音楽療法	1
横沼サロン	体操、ボッチャ	1
ひまわり会	体操、スカットボール	1

10

 介護予防教室

	開催日	場 所	内 容	参加人数
1	令和6年4月16日	ツルハ会津七日町店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・五十嵐	23 名
2	6月5日	ピボット	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川	8 名
3	6月17日	ツルハ会津七日町店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星	55 名
4	6月24日	ツルハ会津七日町店	健康教室 第4包括嶋田・星 ツルハ栄養士	2 名
5	7月16日	COOP ほんまち店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川	9 名
6	7月25日	五月町ふれあい会館	元気はつらつ教室 第4包括嶋田・理学療法士遠藤広崇	11 名
7	8月16日	ツルハ会津七日町店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川	43 名
8	8月28日	日新福祉会館	予防教室 第4包括嶋田・介護予防運動指導員三瓶博	4 名
9	9月2日	リオンドールアピオ店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川	10 名
10	9月17日	コープ本町	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川	15 名
11	10月2日	ピボット	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川・五十嵐	20 名
12	10月16日	ツルハ会津七日町店	フレイルチェック 第4包括嶋田・星・長谷川・五十嵐	62 名
13	10月20日	会津みどりホーム	フレイルチェック みどりフェスティバル	81 名
14	11月21日	リオンドールアピオ店	フレイルチェック 第4包括嶋田・長谷川・松本・一ノ瀬	13 名
15	12月12日	五月ふれあい会館	元気はつらつ教室 第4包括一ノ瀬 ツクイ・サンシャイン管理者	8 名
16	令和7年1月22日	日新福祉会館	元気はつらつ教室 第4包括一ノ瀬 会津みどりホーム管理栄養士佐藤祐子	6 名
17	2月17日	ツルハ会津七日町店	フレイルチェック 第4包括嶋田・長谷川	22 名
合 計				392 名

介護保険収入状況

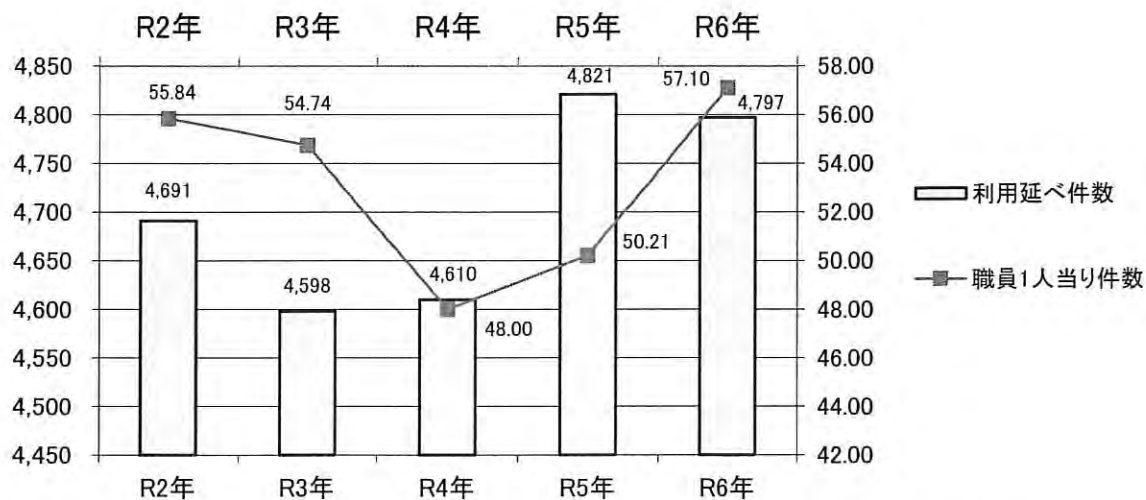


(指定介護予防支援)

(円)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
介護報酬収入	20,405,440	20,364,040	20,536,920	21,386,300	21,481,800
受託収入	92,580	58,650	102,360	249,400	125,460
収入計	20,498,020	20,422,690	20,639,280	21,635,700	21,607,260

平成29年度より日常生活支援総合事業が開始となり、市へ請求していた受託収入が介護報酬収入へ切り替わっている。



(指定介護予防支援)

(件)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
利用延べ件数	4,691	4,598	4,610	4,821	4,797
職員1人当り件数	55.84	54.74	48.00	50.21	57.10
プラン作成職員数	7	7	8	8	7
稼働日数	243	243	244	243	243

職 種	配置状況	人数
管理者・看護師	専任	1名
看護師	専任	1名
主任介護支援専門員	専任	2名
社会福祉士	専任	1名
認知症地域支援推進員	専任	1名
生活支援コーディネーター	専任	1名
事務員	専任	1名
		計8名

令和7年3月31日現在

13 職員研修受講状況（外部研修）

研修月日	研 修 名	主 催	参加人数	会場
5 月 14 日	会津若松市介護報酬改定 Q&A・高齢者福祉サービス等説明会	市高齢福祉課	4 名	会津稽古堂多目的ホール
6 月 25 日	令和 6 年度生活支援体制整備事業研修 基礎編	県社会福祉協議会	1 名	ウィル福島アクティおろしまちコンベンションホール
7 月 3 日	自立支援型地域ケア会議基礎研修	福島県保健福祉事務所	1 名	オンライン研修
7 月 8 日	令和 6 年度ゲートキーパー養成研修会	市健康増進課	2 名	生涯学習総合センター 会津稽古堂
7 月 8 日	令和 6 年度第 1 回会津地域認知症地域支援推進員連絡会	会津保健福祉事務所	2 名	会津保健福祉事務所 会議室 1・2
7 月 10 日	令和 6 年度認知症キャラバン・メイト養成研修	県社会福祉協議会	1 名	福島県男女共生センター 1 階研修ホール
7 月 11 日	令和 6 年度市町村等職員向けチームオレンジ研修・情報交換会	福島県高齢福祉課	1 名	オンライン研修
7 月 24・25 日	令和 6 年度管理職員のための OJT 運用研修 ～職員の成長を後押しし事業を継続させる人事管理制度作りへ～	県社会福祉協議会	1 名	オンライン研修
7 月 30 日	令和 6 年度会津若松市在宅医療・介護連携推進事業 看取り対応強化研修会	市在宅医療介護連携 支援センター	2 名	会津若松医師会附属 会津准看護高等専修学校
7 月 30 日	令和 6 年度苦情受付担当者研修	福島県運営適正化委員会	1 名	ビックパレットふくしま
8 月 19 日	全会津介護支援専門員協会 第 1 回研修会	全会津介護支援専門員協会	3 名	会津アピオスペース
8 月 20 日	令和 6 年度全体研修会	会津若松市 民生児童委員協議会	1 名	会津若松市文化センター 文化ホール
8 月 20・21 日	認知症地域支援推進員研修	市高齢福祉課	1 名	オンライン研修
8 月 20・22 日	「令和 6 年度介護支援専門員 専門研修 I」研修会	県介護支援専門員協会	2 名	オンライン研修
8 月 27 日	養護者による高齢者虐待対応研修会	県社会福祉士会	1 名	オンライン研修
8 月 27 日	令和 6 年度会津若松市在宅医療・介護連携推進事業 看取り対応強化研修会	市在宅医療介護連携 支援センター	2 名	会津若松医師会附属 会津准看護高等専修学校
8 月 29 日	第 1 回会津・南会津圏域精神障害者地域移行圏域ネットワーク強化研修	会津保健福祉事務所	2 名	オンライン研修
9 月 3 日	自立支援に資するケアマネジメント研修	福島県高齢福祉課	1 名	オンライン研修
9 月 12・13 日	令和 6 年度職員研修（初任者）	県社会福祉協議会	1 名	オンライン研修
9 月 27 日	令和 6 年度第 1 回成年後見制度支援者向け研修会	会津権利擁護・ 成年後見センター	1 名	オンライン研修
10 月 2 日	指定介護予防支援事業説明会	市高齢福祉課	2 名	会津稽古堂 研修 2.3
10 月 22 日	令和 6 年度 第 2 回広域連携事例検討会	会津権利擁護・ 成年後見センター	1 名	会津若松医師会附属 会津准看護高等専修学校
10 月 24 日	チームオレンジコーディネーター養成研修	県高齢福祉課	1 名	オンライン研修
10 月 30 日	高齢分野・障がい分野連携 基礎研修	会津西部基幹 相談支援センター	3 名	会津美里町本庁舎会議室
11 月 3 日	第 45 回北地区文化祭	北地区文化祭実行 委員会	1 名	北公民館 1 階会議室

研修月日	研 修 名	主 催	参加 人数	会場
11 月 8 日	あいづわかまつ地域福祉を 考えるフォーラム	市地域福祉課	1 名	會津稽古堂 多目的ホール
11 月 12 日	地域課題解決に向けた事業間連動 支援研修	県保健福祉事務所	1 名	会津アピオスペース
11 月 14 日	令和 6 年度会津若松市認知症キャ ラバン・メイト連絡会全体会	市高齢福祉課	2 名	北会津公民館
11 月 18 日	カスタマーハラスメント対応研修 会	主任介護支援専門員 部会	7 名	会津若松医師会講堂
1 月 5 日	令和 7 年 町北地区・高野地区 合同町民新年祝賀会	町北・高野地区	1 名	会津アピオスペース
1 月 16 日	令和 6 年度「認知症地域支援体制 推進全国合同セミナー」	社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・ 研修東京センター	1 名	オンライン研修
1 月 16 日	令和 6 年度養護者による高齢者虐 待対応スキルアップ研修	県高齢者虐待対応 専門職チーム	1 名	オンライン研修
1 月 22 日	令和 6 年度第 2 回成年後見制度支 援者向け研修会	会津権利擁護・ 成年後見センター	3 名	オンライン研修
1 月 29 日	ケアプランデータ連携システム オンライン説明会	県国民健康保険団体 連合会	2 名	オンライン研修
2 月 10 日	地域包括支援センター体制整備研 修	県会津保健福祉事務所	1 名	オンライン研修
2 月 14 日	令和 6 年度第 2 回生活支援コーデ ィネーター連絡会	県会津保健福祉事務所	1 名	道の駅あいづ 湯川・坂下 会議室
2 月 26 日	令和 6 年度職員研修（現任者）	県社会福祉協議会	6 名	オンライン研修
3 月 3 日	すいしんいんセッション	認知症介護研究・ 研修東京センター	1 名	オンライン研修
3 月 10 日	令和 6 年度地域包括ケアシステム 構築に関する研修会	県会津保健福祉事務所	1 名	会津保健福祉事務所

[7] あいづ博愛こども園

1 事業経過及び総括

こども・子育て家庭の福祉のニーズの多様化や児童福祉施策充実により、保育所、認定こども園に求められる期待が高まる中「子どもの最善の利益」を保障するため質の高い教育・保育を目指した。支援の必要な児童・家庭には、関係機関・専門機関との連携を行いサポートに努めた。幼保連携型認定こども園に移行し3年目となり1号認定が年長児まで在園。初めての卒園児を送り出した。一時的ではあるが、1号認定が定員の10名となった。子どもの発達に合わせた環境づくりと主体的な教育・保育に取り組む。

地域の子育て家庭の抱える課題の複雑化や多様化にあわせ、専門性を活かした支援事業に努めた。

2 重点目標の実施状況

1. 安心・安全な教育・保育環境を整え、働きやすい環境作りに努めます。

- ・感染症対策を継続し、園と家庭との感染症の情報共有を大切にした。
- ・こどもの育ちを見据え、0歳から就学前までのつながる育ちを意識するとともに、主体性を大切にする環境づくりに取り組んだ。
- ・パソコンを増設し、ノンコンタクトタイムの確保や業務の効率化を図った。
- ・「人権擁護の為にセルフチェック」「救命救急講座」の講習を全員で受講した。

2. 質の高い教育・保育の充実を図るため、職員の学びを深めます。

- ・オンライン、参集型の両方の研修会に参加することで、働き方の違う職員も研修を受講する機会が増え個人の資質向上に繋がった。(キャリアアップ研修の受講)
- ・園内研修では、食事と着がえの関わり方の統一を図るための話し合いを行い(全年齢)再確認した。

3. 子育て支援センターの事業の充実を図り、園の特徴を活かした地域とのつながりを大切にします。

- ・本園の子育て支援センターは、低月齢のお子さんがゆったりできるという理由で利用者での定着が見られた。
- ・専門の講師(歯科衛生士・保健師・あかちゃんと体を動かそう)を招き、育児相談会を開催(年間2回)、また、季節の行事など、子ども同士・親同士の交流などができた。
- ・イベントは、おもちゃつくりやいちご狩り、ミニミニ運動会等が好評だった。
- ・2月には、災害級の大雪の影響で、安全確保ができないため一時閉園した。安全確保がきた時点で再開した。

4. 施設の補修・修繕と財政基盤の安定を図ります。

- ・5月 鉄棒のバーの取り換え(経年劣化)
- ・9月 給食室食器洗浄用テーブル、両面式調理台の入れ替えの交換
- ・3月 西側バックヤードの整備(ゴミ置き場など)市の補助金
- ・耐震については、工期や工事内容(費用も含む)から耐震補強は現実的に難しいと判断した。しかし、園舎も築50年となることを踏まえ、建て替えも視野に計画を策定していく。

- 今年度は、災害級の大雪で、2月11日に屋根の雪下しを業者に依頼し実施した。
- ・児童の入所（1号.2号.3号）が増えたことにより、収入も増となった。

3 健康管理

感染症の情報を共有できるよう保護者へ発信し、予防と拡大防止に努めた。

- ① 感染状況などの正しい情報や行政からの指導を保護者へ ICT の一斉メールを活用し配信、共有した。体調がすぐれない際の早めの休養や受診などの協力もお願いした。
- ② 園での具体的な感染対策を伝えた。（感染症による違いなど）
- ③ アレルギー児については、マニュアルを通して全職員が把握し、それぞれに応じた対応を行うことにより情報の共有化を図った。

○内科健診、歯科検診を年2回実施。尿検査（全園児年2回）実施

虫歯予防、歯磨き、食べ物や飲物について保護者に働きかけ取り組んできた。歯科検診後は、虫歯の治療もすすんだ。

4.5歳児対象に「フッ化物洗口」に取り組み、虫歯予防に努めた（週5回）。取り組むことにより、歯科医師から口の中がきれいになっている等の効果がみられているとの話があった。

○感染症による年間延べ欠席一覧

感染症名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
溶連菌感染症	3	0	1	1	0	0	2	0	1	2	2	0	12
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
手足口病	0	0	1	16	5	0	0	0	0	0	0	0	22
ヘルパンギーナ	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	12
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	1	0	15
インフルエンザB	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
ノロウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11
胃腸炎	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	5
RSウイルス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	5
コロナウイルス感染症	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	4
ヒトメタニューモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	10
とびひ	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	4
リンゴ病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

○こども園でのけが

7件（転倒裂傷・転倒歯の損傷、脱臼、目に砂が入る、虫に刺されるなど）

- ・7月17日16:00頃 3歳児男児

鉄棒から手を離し落下した際に右手の肘を骨折。入院、手術。

- ・R7年2月17日15:50 3歳女児

保育室のままごとコーナーで、前かがみになった際に木製遊具に前歯をぶつけ歯科受診。折れている可能性があり、固定し通院しながら経過観察している。

4 栄養管理

楽しい食事を心がけ、一人ひとりに合わせた食事と栄養管理に努めた。

- ① 園児一人ひとりの身長・体重に基づいた「給食栄養量目標量算定表」を作成し、栄養管理に努めた。
- ② 園児一人ひとりの「成長曲線表」によるデーターに基づいて、身体状況を把握し、指導要する園児には、助言や対策を行った。また、家庭と連携を図り、保育教諭と話し合いながら、一人一人に合わせて進めることができた。
- ③ 食事の展示やレシピの配布などを行い、保護者の理解・関心を深め、アンケートの実施により家庭との連携に役立てた。
- ④ 3.4.5歳児クラスでは、自分で配膳したり、クッキング保育や野菜の栽培ができるようになった。食事の楽しさ、食への興味・関心が持てるようになり、意欲や食慾増進に繋がった。
- ⑤ アレルギー児については、医師の診断に基づいて、保護者との連携を図りながら除去食をすすめることができた。

5 保育に関して

- ① 子どもの発達に合わせた環境作りの設定。保育参観やクラス懇談会などで子どもの成長の共有や園の教育・保育の思いなどを保護者に伝える。(行事にも多くの保護者の参加あり)
- ② 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った子どもの主体性に沿った教育・保育計画を立て実践した。
- ③ 季節の遊びを大切に丈夫な体づくりを中心に年齢や発達に合わせる活動を取り入れる。夏は気温や湿度が高く熱中症アラートが出たり、冬には、災害級の大雪の為、安全確保ができずに雪遊びを中止する等、安全を優先に活動を行った。
- ④ 支援の必要な子どもに関し、関係機関と保護者との連携を図ることができ、療育に繋がったり支援学級への就学に繋げることができた。
- ⑤ 不適切保育に関し、園内で「保育所・認定こども園における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を利用し、自らの保育の見直しを行う。今後も、定期的に行っていく。
- ⑥ 他園の公開保育に積極的に参加し、環境、子どもへの関わり等を持ち帰り参考にするとともに、自園の良さを再確認することもできた。

6 安全管理

子どもたちに命の大切さを教え、子ども自ら安全を学ぶよう取り組む。消防署、警察、こども保育課、防災関連業者などと連携を密にし、安全管理に努めた。

・避難経路、防災準備品の確認(マニュアルの見直し)

年2回交通安全教室を開催し事故防止に努めるとともに、園児自らが安全について学ぶ。保護者にも交通安全に対する意識を高めてもらえるよう、活動内容を伝えた。

- ① 毎月の避難訓練では、職員の連携はもとより、子どもが理解できる形で“命を守る”教育を行った。(火事・地震・水害・不審者)
- ② 災害時を想定して、保護者への引き渡し訓練(10月 総合避難訓練)
- ③ 独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険、日本保育協会保育園総合保険(日本興亜損害保険)加入。

避難訓練内容について

月	内 容	月	内 容
4 月	火事（coop 出火想定）	10 月	地震及び火事（給食室出火想定）総合訓練
5 月	不審者（玄関より）	11 月	地震想定
6 月	火事（給食室出火想定）	12 月	不審者（玄関より）
7 月	地震想定	1 月	火事（園北側民家②出火想定）
8 月	火事（園北側民家出火想定）	2 月	地震想定
9 月	水害（阿賀川氾濫想定）	3 月	地震（東日本大震災黙とう）

7 衛生管理

健やかな心身の発達のために、環境設備を整え、衛生管理に努めた。

- ① 感染症対策として毎日の玩具等の消毒を徹底し衛生的な保育環境作りに努めた。
- ② コップ、タオルなどの共有は避け、手洗いは除菌システム・アルコール消毒。ペーパータオルの使用を行った。
- ③ 集団感染・食中毒を防ぐための知識をマニュアルにより、職員間で共有し、対策を徹底するように心がけた。また、給食担当者はノロウィルスなどの保菌検査を定期的に行った。嘔吐物処理など、園内研修において実践することで、確認・共有した。
- ④ 園児の手洗い・アルコール消毒の習慣を身につけ、感染症の二次感染を予防するようにした。
- ⑤ ノロウィルス等の胃腸炎の流行の際は、給食担当者は保育室への出入りを控え、トイレも他職員と共有しない対応を行った。

8 職員数状況（行仁こどもクラブ兼務職員 3 名含む）

（単位：人）

常勤職員						非常勤職員						合計
園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育教諭	栄養士	事務長	保育教諭	保育保助	調理員	清掃員	嘱託医	薬剤師	
1	2	1	15	2	1	4	1	1	2	2	1	34

9 入所児童数状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
0 歳児	4	6	6	7	8	10	11	11	11	11	12	12	109	84
1 歳児	12	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	15	166	192
2 歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	15	182	153
3 歳児	15	16	16	16	17	18	18	18	18	17	17	17	203	168
4 歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	11	154	182
5 歳児	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	211	156
合計	76	80	80	82	84	88	89	89	89	89	91	88	1025	935

（月平均人）

* 月初日数で月中途入退所児童は除く

10 特別保育利用状況

ア、延長保育利用状況(延べ人数) 18時～19時に1時間延長保育を実地した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	46	63	62	74	62	56	53	56	57	102	96	97	824

(月平均 95 人)

イ、一時保育利用状況(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	1	1	0	2	1	2	4	1	6	0	2	1	21

(月平均 2 人)

ウ、障害児保育事業 軽度 3 名 (2 歳児 1 名、5 歳児 2 名)

エ、地域子育て支援拠点事業 (センター型)

	種 類	内 容	回 数	人 数
①	子育てサークル 「げんきクラブ」 (園 内)	・園内外解放 ・絵本貸出 ・おもちゃ作り・お試し離乳食 ・赤ちゃんと体を動かそう ・製作 (季節のもの)	月 2～3 回	延べ人数 大人 274 人 子ども 313 人
②	こんにちは 赤ちゃん訪問 (乳児全戸訪問事業)	市健康増進課委託 ・生後 2 カ月前の赤ちゃんを市に代って 訪問し、育児に関する不安や悩みを傾 聴、子育て情報の提供をする。	月 1～2 件	20 件
③	育児相談	・離乳食の進め方 ・子どもとの接し方 ・発達面について ・家族の問題について ・アレルギーについて	随 時	163 件
④	HP、子育て支援 便り発行	・保育情報の提供・活動予定、報告等	各 月 随 時	

11 保護者会・地域社会との連携状況

- ・市保育所保護者連合会との連携 (球技大会・親子わくわくランド)
- ・保育実習、医師会付属会津准看護学生実習、ボランティア・インターンシップ等の受け入れ

12 職員研修等実施状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
県保協 福島県保育研究大会	郡山	5/18	3
市 放課後児童支援員等研修会	稽古堂	6/7	4
県保協会津支部 保育士会研修	猪苗代	6/8	1
市 子育て支援担当者研修	稽古堂	6/24	1
県社協 アンガーマネジメント研修	オンライン	6/25	1
福島県委託研修	オンライン	6/25	1
県保協会津支部研修	河東公民館	6/25	2

保育園嘱託医・幼稚園医と保育士との研修会	山鹿クリニック	7/26	3
ふくしま保育セミナー	郡山	8/3	2
県社協 リスクマネジメント研修	オンライン	8/9	1
県保協会津支部 保育士会研修	猪苗代	8/17	2
県保協会津支部給食部会研修	オンライン	9/4	3
日保協福島県支部	オンライン	8/22	1
認定こども園ひかり公開保育	会津美里	9/24	2
県子育て支援員研修	オンライン	11/12～12/13	1
県保協会津支部 施設長・保育士等研修会	郡山	11/15	2
公開保育	どんぐり山こども園	12/18	1
県保協委託 保育実習指導者研修	河東公民館	12/19	2
県社協委託児童厚生員・放課後児童指導者研修	オンライン	R7.1/20	1
市 子育て支援担当者研修	稽古堂	1/21	1
キャリアアップ研修（乳児保育）	オンライン	10/25.30	1
キャリアアップ研修（幼児保育）	オンライン	11/18.25	1
キャリアアップ研修（障がい児保育）	オンライン	11/8.14	1
キャリアアップ研修（食育アレルギー）	オンライン	10/23.11/6	1
キャリアアップ研修（マネジメント）	オンライン	11/5.12	2

13 主な園行事

月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事
4	5	金	入園進級・開園式	11	30	土	生活発表会（3.4.5歳児）
	25	木	交通安全教室	12	20	金	クリスマス会・終業式（1/8）
	26	金	保育参観・懇談会 4.5歳児	1	9	木	始業式
5	10	金	遠足 3.4.5歳児		10	金	団子さし
6	7	金	保育参観・懇談会 3歳児		18	土	そりすべり（5歳児）
	29	土	夏まつり		22	水	十日市ごっこ
7	13	土	保育参観・懇談会 0.1.2歳児		31	金	クラス懇談会 0.1.2歳児
	19	金	お泊り保育～5歳児	2	1	土	クラス懇談会 3.4.5歳児（雪の為中止）
	20	土	終業式（1号：夏休み～8/22）	3	15	土	卒園式
8	23	金	始業式		18	火	お別れパーティ
9	28	土	運動会		21	金	終業式（1号：春休み～4/4）
10	23	水	交通安全教室				

※お集まり会・身体測定・避難訓練・食育・・・毎月

※お茶の稽古（年長児）年10回

※キッズサッカー教室（3.4.5歳児）年5回

※英語教室（3.4.5歳児）年28回

14 第三者評価・自己評価

- ・ ICT にて保護者満足度調査を行う。（2月実施）保護者へ回答を公開した。
職員共有し、今後の教育・保育等に反映する。
- ・ 職員自己評価システムによる年2回の自己評価

[8] 放課後児童育成事業（行仁こどもクラブ）

会津若松市より受託し、行仁小学校併設の小学1年生から6年生対象とし1クラス50名（定員100名）の学童保育を行っている。しかし、利用希望の児童が多く待機児童が発生している状況である為、今年度は、1年生1名を増員し受け入れを行った。一方で、年度途中での入退所も多い。

支援員の入れ替え（3名）があり、当こどもクラブとしての理念や保育の仕方などを伝え、子ども達と過ごす中で、同じ関わりができるように伝えあう。

子どもの居場所確認をホワイトボードで見える化をすることにより、支援員全員が把握できるようにした。

また、登所時間から30分経過しても登所しない子に関しては、これまで同様、電話連絡を入れ所在の確認を行っている。（保護者への周知）

室内での保育環境（本、玩具等）を充実することで、子ども達が落ち着き集中してあそぶ姿が見られる。支援が必要な児童については、限られた環境の中ではあるが、落ち着いて過ごせる環境づくりをその都度見直した。

家庭・学校と子どもの姿を共有し、児童と保護者の信頼関係を構築してきた。日頃から保護者との情報交換を大切にし、こどもクラブへの協力体制へとつなげた。

不安の多い保護者には、丁寧な対応を心掛け、安心できるように関わってきた。夏は、気温が高く熱中症アラートが出た際には体育館や校庭での活動を控えた。

また、職員の資質向上を目指し、支援員の園内研修・外部研修に参加しキャリアアップへと繋げた。法人3施設（行仁、東山、鶴城）合同の研修会を会津短大等児教育・福祉学科准教授 木村淳也氏を招き「話し上手は聴き上手」の内容でコミュニケーション研修会を行った。

小学校や地域との連携を密に行った。（「世代間交流」（行仁地区民生員）三者連絡会議（学校・行政・こどもクラブ）

1 利用状況

1組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	23	25	25	26	23	25	24	24	23	21	23	286
登録児童数	50	50	50	50	50	47	47	48	49	49	48	48	月平均 49
延べ出席数	811	860	872	802	551	796	804	793	671	682	625	679	8,946

2組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	20	21	17	19	22	20	20	19	19	22	240
登録児童数	48	49	49	51	53	51	52	51	51	50	50	50	月平均 50
延べ出席数	801	840	845	812	495	819	858	833	731	722	669	705	9,112

2 健康管理 ○感染対策を継続し、感染者が出た場合の対応を学校と情報を共有しながら対応に努めた

○体調不良の際は、利用を控えると共に、感染者が多数出た際には、自宅待機などの協力をお願いした。

○感染症 4月6月…溶連菌感染症各1名

8月…コロナウイルス感染症2名、溶連菌感染症1名
 9月…マイコプラズマ肺炎5名
 10月…マイコプラズマ肺炎10名
 11月…コロナウイルス感染症1名
 12月…インフルエンザA型14名、B型3名
 1月…インフルエンザA型3名
 3月…コロナウイルス感染症3名、リンゴ病1名

- 3 安全管理 ○定期的に遊具や保育環境の点検を行い、小学校や行政と連携し安全な環境づくりに努めた。
 ○避難訓練（年5回）地震・火災・消火・不審者
 ○大きな事故やけがはなし。

- 4 職員状況 ○正職2名 パート職員6名 計8名

- 5 利用状況 ○1ヵ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途徴収

- 6 保護者連携 ○親の会役員会と意見交換し、次年度に反映させる。
 会費2,000円は、毎日のおやつ、お楽しみ弁当、お誕生ケーキ等提供に使用
 ○地域学校協働本部事業「行仁1455」（放課後こども教室）の実施の協力。
 （人数の把握・健康観察・検温・体育館への送迎）

7 研修等状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
第1回 放課後児童支援員等研修会（市）	会津若松市	令和6年6月7日	4名
博愛会こどもクラブ支援員合同研修	会津若松市	令和6年9月9日	8名
県 放課後児童員向上研修（専門）	オンライン	令和6年10月.19	1名
県 放課後児童員向上研修（向上）	オンライン	令和6年11月28.30日	1名

8 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	10	水	新入生歓迎会	12	7	土	ボーリング大会（親の会）
	22	月	非行防止教室（出前講座）	1	12	木	だんごさし
6	22	土	親子赤べこ絵付け体験（親の会）	2	3	月	豆まき
9	7	土	行仁こどもまつり	3	3	月	ひなまつり
11	9	土	親子味噌づくり（親の会）	3	19	水	進級お祝い会

※毎月 誕生会

[9] すくすく園

1 運営経過及び総括

コロナ禍以降の生活や保育活動も安定し、園児や保護者、保育士も先の見通しをもって過ごすことができ行事等の幅も広がった。感染症に対しては、園内の掃除・消毒などをこまめに行い、メール等で感染情報を伝えることで、保護者の意識も高まりより連携がとれた。

保育の見える化を推進するために ICT 委員会を立ち上げ、保護者への発信、保育事務の ICT 化を充実させることができた。また、保育士のノンコンタクトタイムでは、職員配置のボードを利用しながら各保育士が協力し、業務軽減に努めてきた。保護者も、携帯電話で情報の伝達が手軽にできることでこまめな連絡がとれ、入力漏れなどに対しては、役割を決め園児の所在確認を徹底して行ってきた。また、保護者とのコミュニケーションを大切にし、言葉での伝達も丁寧に行い、保護者との信頼関係の構築に繋げてきた。

保育士確保が困難な中、園内の掲示により保護者や業者の方の目に留まり採用に繋げることができた。人材育成や継続雇用に向けて、休暇の取得、十分な休憩の確保、面談、対話等を大切に、働きやすい職場となるよう心掛けてきた。

福島県保育所等カウンセラー事業に参加し、特別な配慮を必要とする園児に対する、保育士の対応力向上の為、今年度から 3 年間、臨床心理士が来園して保育の質向上を図ってきた。気になる子に対する関わり方や悩みを相談し、専門的な助言により園児や保護者への対応力が向上してきた。

こども園への移行、新園舎建替えは、職員の大きな目標となり、保育理念の「博愛の精神で子どもの健やかな成長を育む」を意識しながら、子ども一人ひとりに寄り添い丁寧な保育に心掛け職員の意識向上に繋がった。

園舎設備の老朽化や温暖化による予期せぬ修繕などもあったが、計画的な修繕と維持管理に努めてきた。今後も職員の意識を高めながら丁寧な備品管理を行い、安定した運営、選ばれる園である為の取り組みが重要である。

2 重点事業

1. 理念や方針、教育・保育内容を共通理解し、保護者との協力体制づくり

- ・園内、園外の研修を活用し子どもの育ちを理解しながら、保育士の関わりや働きかけを見直し、職員間で保育の共通理解をすすめた。
- ・保育参加、一日保育士体験など、様々な年間行事を通して、保護者が子どもと一緒に園で過ごす時間が増え、園の保育理解や子どもの発達に興味関心が持てる機会づくりを行う。

2. 安全と衛生面に配慮した、心地よい環境づくりと社会的背景に応じたリスク管理

- ・幼児クラスの、食事と着替えのスペースを衝立で別空間とし、アレルギー児に対しては、出入り口を変え、歯磨きの場所も別に設け、他児との接触がないよう対応した。

3. 子育て支援センターやすくすく園の特色を生かした地域における公益事業の定着化

- ・子育て支援センターは、随時利用できるようにし、行政の指導の下、担当が2名で対応する。また、10組以上の利用ができるよう、踊り場の利用も可能にした。
- ・ホームページ等に、楽しいイベント情報を載せたことで、積極的な利用となった。

4. 認定こども園への移行計画及び既存施設の補修・修繕と財政基盤の安定

- ・認定こども園への移行・園舎建設を計画的に進め保育事業の継続的な発展に努めた。
- ・計画外の補修にも柔軟に対応し安全な環境を作ることができた。

3 保育内容

- ① 園内・園外研修を通し0歳児から就学前までの育ちを理解し、繋がりのある保育を意識しながら保育をすすめることができた。
- ② 不適切保育について、園内・園外研修し、更に年2回の保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリストを全職員で行った。
- ③ 保護者間の交流や保育に対する理解を促す取組みを実施することができた。地域の敬老会の方や各機関との交流の機会を設けられた。

4 健康管理

感染症の正しい情報を共有・発信し、予防と拡大防止に努めた。

- ① 保護者への注意喚起の情報をメールや掲示物を活用した。
- ② 毎日のフッ化物洗口(4.5歳児)、全園児対象で、内科健診・歯科検診・尿検査を年2回実施する。
- ③ 食物アレルギーでエピペン使用園児(2名)
- ④ 熱性けいれん(10名)

月別主な感染症状況

感 染 症 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度
新型コロナウイルス	0	1	1	1	4	3	0	0	0	0	8	6	24	13
溶連菌感染症	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	13
アデノウイルス感染症	0	3	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	8	13
RSウイルス感染症	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	6
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
ヒトメタニューモ	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	21
突発性発疹	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4	6
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	4	7
ロタウイルス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
感染性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	37
インフルエンザA型	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	0	0	18	3
インフルエンザB型	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
手足口病	0	0	0	3	15	3	5	0	0	0	0	0	26	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

5 栄養管理

食に関心が持てるよう、安全でおいしい給食の提供に努めた。

- ① 食育の充実で野菜栽培、米の収穫を季節に合わせ行い、食への関心を高めてきた。
- ② コロナ前の生活様式に戻し、異年齢での食育活動も多くでき、食事マナーも年上の子の姿を見て学び、楽しく食べられていた。

6 安全管理

震災時に備え備品の確認と危機管理マニュアルを周知し、安全な環境づくりに努めた。

- ① 年1回の備品等の点検を実施し保存食の補充と入替えを行う。保管場所を確認し把握することで全職員の防災意識を高めた。
- ② 交通安全教室(春・秋)と避難訓練、スクールサポーターの指導の下の不審者訓練を

様々な想定のもと実施した。総合避難訓練において、園児引き渡し訓練等も実施する。

月	内容	月	内容
4月	地震・火災・通報訓練・消火訓練	10月	総合避難訓練・通報・消火・園児引き渡し訓練
5月	地震・火災・通報訓練・消火訓練	11月	火災・通報訓練・消火訓練
6月	地震・通報訓練・消火訓練	12月	防災教育（ビデオ）
7月	地震・火災・通報訓練・消火訓練	1月	地震・通報訓練・消火訓練
8月	地震・通報訓練・消火訓練	2月	職員病欠による不足のため中止
9月	風水害・通報・消火・不審者訓練	3月	地震・通報訓練・消火訓練・不審者訓練

7 衛生管理

清潔で衛生管理の行き届いた保育環境・給食環境に努めた。

- ① 感染症の予防と拡大防止のためマニュアルを活用し園内研修を実施する。
- ② 職員が感染症の媒体者にならないよう健康管理に努める。

8 職員数状況（令和7年3月31：東山こどもクラブ、鶴城こどもクラブ職員兼務4名含む）

常 勤 職 員						非 常 勤 職 員				合計
園長	主任	副主任	保育士	栄養士 調理師	事務 職員	保育士	調理師 調理補	用務員	嘱託医	
1	1	1	15	2	1	3	2	2	2	31

9 入所児童数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
0歳	2	3	4	6	6	8	8	9	9	9	11	11	86	103
1歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	140
2歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	168
3歳	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	187	192
4歳	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	187	179
5歳	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	175	137
合計	74	75	76	78	78	80	80	80	80	80	82	82	959	919

10 特別保育事業状況

○延長保育事業（月平均利用のべ人数 116人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ利用者数	132	131	116	116	85	111	113	108	101	139	118	118	1412

○地域子育て支援拠点事業（事業内容）

	種 類	内 容	回 数	延べ人数
①	絵サロン （絵自治会館）	お休みの周知をする	0	0

②	すくすくサロン (園内・園庭)	○1日10組までの受け入れ ○多胎児・障がい児(毎週 月曜・木曜の午後) ○育児相談・園庭・プール開放 ・絵本貸出制作活動(こいのぼり・母の日・父の日・ 芋ほり・お月見団子・クリスマス・だんごさし・節分・ おひなさま・思い出カードづくり・りんご狩り・いちご狩り等)	週6回	165名 相談14件
③	全戸訪問 (市委託事業)	生後2カ月未満児の家庭訪問 (育児環境の確認・育児相談・情報提供)	月2件程度	22件

1 1 保護者会・地域との連携状況

- 会津若松市保育所連合会行事の「親子わくわくランド」は、年長児親子参加のみで行う。
- 中学校の2学年の就労体験や養成校と連携を図り、実習生の受入れを積極的に行う。

1 2 職員研修等実施状況

研 修 名	開 催 地	開 催 日	参加者
博愛会 新採用基礎研修	みどりホーム	4/1	1名
世界文 ワンダー元気セミナー	南東北総合卸センター	5/11	2名
県保協 福島県保育協議会会津支部総会	ワシントンホテル	5/10	1名
県保協 第39回福島県保育研究大会	ユラックス熱海	5/18	1名
市保連 第1回会津若松市保育士会研修会	オンライン研修	7/8	5名
県保協 第1回会津支部保育士部会研修会	猪苗代町学びいな	6/8	4名
県保協 第2回会津支部保育士部会研修会	オンライン研修	6/17	3名
博愛会 老人施設中堅研修	みどりホーム	6/27・7/11	1名
市こ課 第1回子育て支援研修	稽古堂	6/24	1名
県保協 福島県保育協議会会津支部研修会	河東公民館	6/25	2名
福発会 セカンドステップ講習会	けんしん 郡山文化センター	7/6	1名
市健増 ゲートキーパー養成講習会	稽古堂	7/8	2名
医師会 第24回保育園嘱託医と保育士との勉強会	山鹿クリニック 西側研修棟	7/26	5名
市健増 乳児家庭全戸訪問従事者研修会	稽古堂	8/1	1名
会児相 児童虐待防止に係る学校等との連携強化	北会津公民館	8/1	1名
県教庁 架け橋期の学びをつなぐ オンラインシンポジウム	オンライン研修	8/1	1名
市食育 食育関係者研修会	オンライン研修	8/3	1名
社福協 リスクマネジメント研修	オンライン研修	8/9	1名
福島県 令和6年度特定給食施設等講習会	オンライン研修	8/22	1名
社福協 令和6年度保育所給食関連職員研修	オンライン研修	8/27	1名
県社協 令和6年度保育所指導管理者研修	オンライン研修	9/12	1名
会支部 会津支部給食部会研修会	オンライン研修	9/18	2名
県保協 保育所等経営セミナー	オンライン研修	9/18	1名
福島県 福島県幼児教育カリキュラム研修会	湯川村公民館	9/27	1名
会支部 令和5年度福島県保育協議会会津支部	あさひがおか保育園	10/4	3名
市こ課 乳児保育研修	會津稽古堂	10/15	1名
福島県 福島働き方改革推進支援研修	オンライン研修	10/18	1名
市健増 地域発達障がい児支援者 スキルアップ研修	稽古堂	11/13	2名
ポラリ 中堅職員研修(全3回)	オンライン研修	10/18・11/15・12/20	2名

ポラリ 保育リーダー（全3回）	オンライン研修	9/22・10/21・11/1	1名
県キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	オンライン研修	11/15・22	2名
県キャリアアップ 乳児保育	オンライン研修	10/25・30	1名
県キャリアアップ 保健衛生・安全対策	オンライン研修	10/22・29	1名
県キャリアアップ 幼児保育	オンライン研修	10/28・11/1	2名
県キャリアアップ 障害児保育	オンライン研修	11/8・11/14	2名
博愛会 令和6年度社会福祉法人博愛会 リーダー研修	オンライン研修	1/14	1名
市中央 第2回会津若松市子育て支援担当者研修会	稽古堂	1/28	1名
会若葉 公開保育研究会	認定こども園 会津若葉幼稚園	2/7	1名
県キャリアアップマネジメント	オンライン研修	1/22・29	1名
県キャリアアップ保護者支援・子育て支援	オンライン研修	12/13・18	1名
県キャリアアップ幼児保育	オンライン研修	11/29・12/2	1名
県キャリアアップ障害児保育	オンライン研修	2/1・2	2名
県キャリアアップ障害児保育	オンライン研修	2/1・2	2名
福保協 保育実習指導者研修	オンライン研修	3/12	1名
福島県 福島県魅力あふれる保育環境作り支援事業	オンライン研修	2/25	1名
会津短 退任記念最終講義（鈴木秀子）	会津短期大学	3/12	1名

13 主な行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	1	月	入園・進級式	11	9	土	クラス懇談会（4歳児）
	19	金	春の交通安全教室		21	木	観劇
	26	金	自然の家：さつまいも苗植え（5歳児）				
5	10	金	春の遠足「石筵ふれあい牧場」	12	14	土	生活発表会（3歳児・4歳児・5歳児）
	25	土	クラス懇談会（0歳児）		25	水	クリスマス会
6	8	土	クラス懇談会（2歳児）	1	10	金	だんごさし
	12	水	プール開き		15	水	十日市ごっこ
	15	土	クラス懇談会（5歳児）		25	土	クラス懇談会（2歳児）
	22	土	卒園児との交流会				自然の家：そり滑り（5歳児）
	29	土	クラス懇談会（1歳児）				
7	5	金	たなばた（千桜会との交流）	2	1	土	クラス懇談会（0歳児）
	13	土	夏まつり（全クラス）		3	月	まめまき
	19	金	自然の家：さつまいも草むしり（5歳児）		8	土	クラス懇談会（1歳児）※大雪中止
8	6	火	カレーパーティー		15	土	クラス懇談会（3歳児）※大雪中止
9	6	金	秋の交通安全教室		21	金	東山小学校見学（5歳児）
	28	土	運動会（3歳児・4歳児・5歳児）				
10	4	金	総合避難訓練（引き渡し訓練）	3	3	月	ひなまつり
	12	土	親子わくわくランド（年長児）		8	土	卒園式
	26	土	自然の家：さつまいも掘り（5歳児）		12	水	お楽しみ会
	31	木	秋の収穫祭				

14 第三者評価・自己評価

○契約会社の利用者アンケートと自己評価を導入する。アンケートについては保護者の意

見を集計し、結果を保護者に公開するとともに次年度の事業計画・保育等に反映できるよう検討を行った。

[10] 放課後児童健全育成事業報告書（東山こどもクラブ）

今年度になり、遊びが見つからない児童がいることに気づき、支援員同士も、年間を通して話し合いを重ねながら環境改善に努めた。生活や遊びの環境を少しずつ変える事によって、室内での過ごし方に変化がみられるようになった。健康面は、頭痛や腹痛など児童の訴えや体調を読み取り、早めの対応に心がけ、インフルエンザ等の感染症に対しては学校と連携を図り対応することができた。

児童発達支援センターの臨床心理士に、気になる児童の関わり方のアドバイスを受ける事によって、支援員の思いや対応を認めてもらい、更に適切な関わり方を学ぶことができた。児童の性格や行動に対しては、学校に相談し連携をもって対応することができた。

おにぎり作りでは、米農家より、「お米ができるまで」のお話を聞いてから、それぞれが量を加減しながらラップでおにぎり作りをした。この経験で、お米やおやつ作りの大切さを再確認することができた。

今年度は、地域の方を招いての折り紙遊びや、語り部・読み聞かせなどに触れながら児童の感性を豊かにしていく経験をすることができた。親の会と合同主催の、「ミニ運動会」では、親子で楽しめる競技を選び、楽しい運動会を行うことができた。保育参加では、数名の保護者が参加をし、一緒にこどもクラブを体験することができた。今後も、保護者がこどもクラブ活動を理解し、一緒に児童の成長を見守れる保育の見える化を目指していきたいと思う。

1 利用児童数状況（年間延べ人数）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
4,778	5,690	3,400	1,395	141	0	15,404

2

利用状況（年間開所日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	24	25	27	26	23	26	24	24	23	22	25	294

3 健康管理 ○インフルエンザや各感染症等など、引き続き各感染症予防・感染拡大防止の基本対応を行う。

4 安全管理 ○賠償保険に該当する件数は0件 ○毎月の避難訓練の実施（地震・火災、不審者、土砂災害など）

5 職員状況 ○正職1名 臨時職員1名 パート職員7名 計9名

6 料金状況 ○保育料 1ヶ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途

7 保護者・地域連携 ○保護者からの年度末アンケートの結果を次年度へ反映する。 ○東公民館・小学校と連携し放課後こども教室を実施する。

8 研修等状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
市こども課 第1回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	6/7	2名
市こども課 第2回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	9/24	2名
市こども課 第3回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	12/3	2名
博愛会合同 3施設合同研修	行仁こどもクラブ	9/9	8名
福祉協 児童厚生員・放課後児童指導員研修	オンライン研修	1/20	1名

9 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	8	月	入会式・親の会総会（中止）	12	26	木	年末大掃除
	22	月	母の日プレゼント作り		27	金	年末大掃除
5	7	火	プラバン板制作	1	10	金	だんごさし
6	3	月	父の日プレゼント作り		17	金	十日市ごっこ
7	5	金	七夕	2	3	月	豆まき
8	26	月	夏祭り	3	3	月	ひなまつり
9	2	月	敬老の日プレゼント作り		12	水	進級祝い会
10	31	木	ハロウィン仮装パーティー	* 毎月：お誕生会・避難訓練			
12	23	月	クリスマス会				

〔11〕 放課後児童健全育成事業報告書（鶴城こどもクラブ）

年間を通して、支援員の増員や退職者の補充の為、市のHPやハローワークに採用募集をする。長く勤務できる人材を採用することが難しく、職員の入れ替わりなどがあり、支援員同士の連携を密にしながら安全に努めて保育にあたるように心がけた。

児童発達支援センターの臨床心理士に、気になる児童の関わり方のアドバイスを受ける事によって、支援員の思いや対応を認めてもらい、更に適切な関わり方を学ぶことができた。保護者の意見に対しては、思いを受け止めながら、学校と連携し対応を協議していくことで情報共有をすることができた。

毎月行っている避難訓練においては、支援児に対して避難経路や約束事など事前に説明をして対応した。後半になり急な災害を想定して予告なしの訓練を行うが、毎月の訓練の成果もありパニックにならず落ち着いて行うことができていた。

今年度も、人形劇やサッカー教室・パステルアートなど、児童の感性を豊かにしていく経験をすることができた。気温が高くなると校庭で遊ぶことができない日も多く、時間帯を考慮した日陰での水遊びなどを行うことで、児童のストレス改善に繋げてきた。

親の会と合同主催の「運動会・十日市ごっこ」では、130名の参加があり、親子が触れ合える内容と保護者間の親睦を高めることができた。保育参加では、昨年よりも多い人数の参加があり、こどもクラブを体験することができた。今後も、保護者がこどもクラブ活動を理解し、支援員と共に児童の成長を見守れる保育の見える化を目指していきたいと思う。

1 利用児童数状況（年間延べ人数）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
6,112	3,924	3,566	406	404	323	14,735

2 利用状況（年間開所日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	24	25	27	26	23	26	24	24	23	22	25	294

3 健康管理 ○インフルエンザや感染症等、引き続き各感染症予防・感染拡大防止の基本対応を行う。

4 安全管理 ○賠償保険に該当する件数は1件 足指骨折（歩行時、足をひねって体重負荷により骨折する）
○毎月の避難訓練の実施（地震・火災、不審者、水害など）
○食物アレルギーでエピペン使用児童（2名）
食物アレルギー児のおやつは家庭より持参してもらい個別に保管対応

5 職員状況 ○正職1名 パート職員7名 計8名

6 料金状況 ○保育料 1ヶ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途

7 保護者地域連携 ○保護者からの年度末アンケートの結果を次年度へ反映する。
○鶴城地区青少年育成推進協議会の活動である、朝のあいさつ運動・学区内の危険箇所環境調査に参加する。

8 研修等状況

研 修 名		開催地	開催日	参加者
市こども課	第1回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	6/7	2名
市こども課	第2回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	9/24	2名
市こども課	第3回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	12/3	2名
博愛会	3施設合同研修会	行仁こどもクラブ	9/9	8名
福祉協	児童厚生員・放課後児童指導員研修会	オンライン研修	1/20	1名

9 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	8	月	入会式・親の会総会（中止）	12	26	木	年末大掃除
	22	月	母の日プレゼント作り		27	金	年末大掃除
5	7	火	プラバン板制作	1	10	金	だんごさし
6	3	月	父の日プレゼント作り		17	金	十日市ごっこ
7	5	金	七夕	2	3	月	豆まき
8	26	月	夏祭り	3	3	月	ひなまつり
9	2	月	敬老の日プレゼント作り		12	水	進級お祝い会
10	31	木	ハロウィン仮装パーティー	* 毎 月：お誕生会・避難訓練			
12	23	月	クリスマス会				